

平戸オランダ商館の商業帳簿に見られる日蘭貿易の一断面

——一六三六年のオランダ商館「仕訳帳」の分析を中心に——

加 藤 榮 一

はじめに

幕藩体制の形成過程における鎖国の意義はきわめて大きいが、今日、鎖国形成の論理は必ずしも充分に解明されていない。また、幕藩権力の創出過程において、幕藩権力の成立と維持に必要とされる商品流通の展開、幕藩権力による生産諸力の組織と都市の形成掌握など、この時期の流通過程、市場構造の問題を追究する場合、外国貿易は非常に重要な問題となつて来る。即ち、領主経済の問題、これに奉仕する商人資本の問題、初期の都市構造と手工業生産との関連、これらの面で、近世初頭の日本の海外貿易の持つ意義は極めて大きなものがあると考ええる。

しかし、近世初期の海外貿易の実態は、今日どこまで明かにされているであろうか。とくに、その基礎的実証作業は非常に遅くれている。その一つの大きな原因をなすものは、史料の制約、即ち近世初期の商品流通、とりわけ鎖国形成期を中心とする前後の時代の貿易関係史料で、今日国内に伝存する史料が皆無であるという点である。

ところで、そうした史料の制約は、あくまで克服出来ないものであるうか。その解答はすでに岩生成一博士の研究業績に見られるように、必ずしも克服不可能の問題ではない。オランダ側史料を中心とする、当時の海外史料を丹念に分析してゆくことによって、可成り当時

の日本の海外貿易の実態を明らかにすることが出来る。

本稿は、かかる研究史上の問題を顧慮して、外国側の史料、特にオランダ東印度会社との日本関係文書を利用して、この間の欠を漸次克服してゆくことを意図している。とりわけ、近世初期貿易に関する数量的研究を、若干微視的に追求してゆこうと試みるものである。尚、かかる数量的研究は、可成網羅的に行う必要があるが、本稿においては、取り敢えず、基本的データーを広く研究者に提供することを考慮して、平戸オランダ商館の商務記録に依つて、日本商人とオランダ商館との取引の実態を示す史料を逐次紹介し、解説してみたい。

附記、本稿は、主として、平戸オランダ商館の一六三六年度の「仕訳帳」と「元帳」を中心に、一六三六年における平戸オランダ商館の商務活動を、取引相手となつた日本側商人との関連において、その内容を一覽せんとするものである。今日、在日オランダ商館の商業帳簿のうち、「仕訳帳」は一六二〇年以降、「元帳」は一六二四年以降のものが一八〇五年度まで、途中、若干の散逸、重複はあるが、可成り纏まつた形で残されている^①。本稿が、まず一六三六年を取り上げたことには、特に他意はないが、先年、筆者が、「成立期の糸割符に関する一考察」(宝月圭吾先生還暦記念会編『日本社会経済史研究近世編』昭和四十二年十月刊 所収)の六節に、一六二四年より三十五年までは、

平戸商館の「元帳」を基に、「仕訳帳」を参照して、白糸の販売状況と、日本側商人の白糸取引関係を纏めて一覧表としたので、これに続く年次として一六三六年度を選んだのである。本稿では、白糸に留らず、他の商品に関しても取上げたので、本来、史料的最上限である一六二〇年に遡るべきであるが、一六二〇年より二三年度までは、「元帳」を欠き、「仕訳帳」より「元帳」を復元する作業を要し、その点から目下同年度の「仕訳帳」を翻刻整理中であるので、取敢えず、一六三六年度の史料を紹介するものである。従って、本稿に引続き、一六二〇年より平戸時代全時期を通してのオランダ商館の取引関係と、これによって分析し得る初期の商品流通及び海外貿易の諸問題を後刻提起する予定である。

一、一六三六年度の平戸オランダ商館と取引関係を有した日本側商人等について

「仕訳帳」と「元帳」 平戸オランダ商館では、すでに一六二〇年代には、ほぼ完全な複式簿記を使用している。従って、オランダ商館の会計に属するすべての勘定は、記帳に際して借方要素と貸方要素に分類された上、まず「仕訳帳」に記載され、ついで「元帳」の、夫々の勘定科目ごとに纏められた口座に、借方要素はその借方欄（帳簿の見開き頁の左側）に、貸方要素はその貸方欄（同じく右側の頁）に順次記載される。

「仕訳帳」は一定期間内に生じたあらゆる取引を発生順に、月日を追って記入してゆく帳簿であるから、これによって商館の商業活動の全貌を知ることが出来る。これに対して、「元帳」は勘定科目ごとにこれを纏めたものであるから、個々の商品なり、個々の取引相手なりに即して商館との関係を縦覧しうる史料となる。従って、両者を併せ利用することによって、オランダ商館の商業活動を様々な視角から分

析することが可能となるのである。

「仕訳帳」の冒頭には、その年度の期首における商館の資本、資産、債権、債務の状況を示す記載（いわゆる opening entry）があり、商館が前年度から繰越とした諸商品の在庫数、取引相手の債権、債務の金額などが判明する。そして「仕訳帳」の最後に、次期への繰越しを示す記載（closing entry）があり、同様に商品債権等の次期への繰越状況が判明する。第一表は、一六三六年度「仕訳帳」の期首記載と期末記載から、商館と取引関係を有した日本人に関する項目を抜萃し、一六三六年度の期首および期末における、彼らの商館に対する債務の状況を示したものである。彼らは、將軍家、閣老をはじめ、松浦隆信、およびその家中の者など武士階級に属するものと、平戸・京・堺・大坂・江戸・長崎其他の出身の商人などである。ここに記載された者は、すべて一六三六年度「元帳」に彼ら自身の名義の「勘定口座」を持っている。尚、第一表の人名の排列は、「元帳」における各自の「勘定口座」の丁数の順によっている。（但し、二十一番目の青山大藏幸成のみはその排列を改めた）。また、この他に、オランダ商館に対して、前年度よりの繰越債務と次年度への繰越債務の無い者で、商館と取引があり、一六三六年度「元帳」に「勘定口座」を有する者の氏名は第二表の如くである。故に、第一表と第二表に掲げられた者は、一応、一六三六年を中心にする一定期間、平戸オランダ商館と何らかの形で持続的な取引関係（必ずしも商業的取引関係とは限らない）を有した日本人と考えられよう。

猶、商館との実際上の取引で、ある商品、例えば白糸などを、現金払いで取引した場合は、「仕訳帳」には

Pr Cassa aen Rouwe zijde. f. 106913: 9: 8. T. 37513.5. voor
soo veel monterren 14050: catij. Witte ditto, aen de naerrol-
gende personen tegens T. 267. t'picol, volgens den getroffen
prijs ofte pancado contant geleverd.⁽²⁾

「現金—白糸、一〇六九—三グルデン・九スタイフェル・八ベニツヒ、銀にして、三七五一三テール・五マース。右は白糸、一四〇五〇カテーに相当する。右「白糸」を下記の人びとに、一ピコル当り二六七テールの、協定価格、即ちパンカド価格にて現金売で引渡す。」

の如く記載され、この事例の場合は、白糸買取人の氏名は内容注記として列記されているが、取引における両要素たる、借方要素は、この場合「現金」であり、貸方要素は「白糸」で、「元帳」には、右の金額が、「現金勘定」の借方欄に△白糸一四〇五〇カテー▽（二カテーは一斤）として、同じく、「白糸勘定」の貸方欄に△現金▽として記載され、買取人の氏名は「元帳」の勘定口座としては現われない。

次に、これも商品を現金販売した場合に多い例であるが、多くの者に売渡した場合、

een de verscheidene personen vercocht.....

「多数の人に売渡す.....」

の如き形式の記載もまま見られ、この場合には、商品を購入した者の氏名は判明しない。

従って、「元帳」の「勘定口座」以外に、「現金売」の場合の買取人の検索も必要であり、また、これら氏名の判明する以外に、不特定多数の人物がオランダ商館と取引関係を有した事を前提としなければならぬ。しかし、かかる不特定多数の人物及び、ある商品を一回乃至、数回、現金取引したのみの者と、自己の「勘定口座」を「元帳」に有する者との間には、自ら、オランダ商館との取引関係の上で、一定の区別を設けても差し支えないであろう。本節では、まず商館の「元帳」に自己の「勘定口座」を有する者について考察し、ついで、「現金取引」のみを行なった者のうち主要なものを順次採り上げて考察しよう。

身分および出身地

イ 武士階級 「元帳」に勘定口座を持つ取引相手の大半は商人身分の者と見做されるが、第一表に見られるように、純然たる武士階級に属する者も少くない。尤も、彼らのうちには、商館から金を借り、その債務が連年履行されずに繰越しとなっている者（例、松浦主殿、同内膳、同内匠、同蔵人、長村シロスケ、サクエモンなど。但しサクエモンは身分不詳であるが、恐らく松浦家中の者と考えられる。）も少くないから、純然たる商業的取引として観察する場合には、対象から除外される者も生ずる。猶、武家の取引関係については、松浦氏の領主財政の問題、および將軍以下各方面に対する商館の献上品の検討などと並んで、別に考察する予定であるから、本稿においては、人名の検討のみに留める。

Eigensama, Heer van Firando. 松浦肥前守、△平戸の領主ヒゼンサマ▽。この時期では宗陽公隆信で、法印鎮信の孫に当る。彼は寛永十四年に死歿しているから、これはオランダ商館との関係史料では、隆信の最晩年に属する史料である。

Tonnemcndonne. 松浦主殿、△平戸侯の弟、トノモンドノ▽。松浦隆信の弟半左衛門信展である。彼の名は領主隆信に次ぐ地位の者としてすでにリチャード・コックスの日記にも△トノモンサマ▽として随所に見られる。「筑前筑後肥前肥後探索書」以下「探索書」と略す⁽⁴⁾には、次に述べる松浦内膳、松浦内匠とともに「三人のおとな」とあり、内膳とともに、既に元和期から松浦家の貿易事務等を統轄していたようである。

Zeijsendonne. 松浦内膳。「仕訳帳」一六二六—二八年、其他に△ネイゼンドノ・平戸侯の義弟▽とあり、「探索書」に、

「肥前殿いもとむこ

松浦 内膳

千 石⁽⁷⁾

とあるのと一致する。彼は主殿信辰とともに、領主不在の際に執政と

して責任ある地位にあった。⁽⁸⁾

Crosedonne. 松浦蔵人。「仕訳帳」一六三六年、十月十日条に「クロゼンドノ・平戸侯の叔父」とあり、⁽⁹⁾「仕訳帳」一六二四—二六六年、の一六二五年二月六日の条に、「故法印様の息子」との注記が見られる。⁽¹⁰⁾「寛政重修諸家譜」に依れば、法印鎮信の次子に蔵人信正とあり、右の注記と一致する。但し「探索書」には、「法印の甥の由」と記されている。

Taeckemondone. 松浦内匠。⁽¹²⁾

松浦内匠について、「探索書」は「是も一門の由」と記しているが、「仕訳帳」一六三六年、十月十日の条には「前の家老」とあり、⁽¹¹⁾一六三四年十月二〇日の「仕訳帳」の注記には「主席家老」とある。⁽¹³⁾

Chirosquedonne. 長村シロスケ。屢々、Secretaris van de Heer「平戸侯の書記官」、又は Regent「家老若くは奉行」として現われる。寛永十一年五月十五日（日本暦）付の彼自身の商館長クーケバツケル宛書翰の蘭訳文には、末尾に Nangamoura Siroquedonne とあり、長村姓であることが判明する。⁽¹⁴⁾

Rijseijmon, リザエモン。平戸侯の買物掛り。「元帳」一六二四—二六六年、には「bonghoi van de Heer」と記されている。bonghoi はいわゆるボンジョイで、普通、上級の者は、同心、検使などと訳され、下級の者の場合は、士卒、足軽などに比定され、奉行または番衆などの語が転訛したものであらうと云われる。⁽¹⁵⁾

以上は松浦氏の一門・家中と考えられる者であるが、このほか平戸のサクエモンが身分未詳であるが、「元帳」の記載順から推して、平戸家中の者ではなからうか。

【補註】Regent レヘントの翻訳は、幕領の場合は代官が一般に妥当と思われるが、松浦家などの場合、他の用例から推して、奉行、ないし家老クラスの者がこれに相当するのではないかと考える。

Sijne Keiserlijk Majesteit van Japan. 將軍家。日本国皇帝陛下であるが、云う迄もなく徳川家光を指す。この年度の將軍名儀の買物は、十月四日（新曆、以下特に断らない場合、年号を併記せぬときは新曆による。）に伽羅と毛織物類などを中心に銀十貫八五〇匁の買付のみで、あとは五月二五日に前年度の債務の返済と、十二月三十一日に前記の買物代金を支払っている。但し、これらは直接將軍名儀によるもののみである。

Heer van Ouwarij. 尾州侯。御三家の徳川義直。六月二〇日に前年度の負債を現金決済しているのみで、当年はほかに取引はない。これに対して、紀州徳川家は、御用商人セキツを派遣して商館と盛に取引を行なっている点に興味が持たれる。

Fotta Cangadonne, Japanese Raets Heer. 老中堀田加賀守正盛、日本国の国事顧問官ホッタカンガドノ。Raets Heer は普通閣老と訳される、必ずしも老中・加判クラスに限らず、若年寄・大番頭其他將軍の周辺に在り、幕府の最高政策に発言力を有する大官を、Raets Heer と称んでいる。正盛は家光の直臣で、松平信綱らと共に若年寄を経て寛永十年、加判に列し、鎖国形成期の家光政權の中樞に在った人物である。⁽¹⁶⁾

De Raets Heeren Taeckimondone & Okra done. 牧野内匠頭信成と老中青山大蔵少輔幸成。信成は家康・秀忠・家光の三代に仕え、元和元年大番頭、寛永三年御留守居となり後年家綱の傳をつとめた。⁽¹⁷⁾幸成は寛永五年老中に就任している。この両者が同一の「勘定口座」であるのは、恐らく共同の名儀で商館より貨物を購入したのであらう。当年の勘定は六月二〇日に銀二十一貫五五〇匁を商館に支払っている。猶、青山幸成は別に、当年十月二日、羅背板、小羅紗、セイラス稿、天鷲絨ならびに白糸五〇斤、都合、銀四貫一九匁を購入している。このように共同名義の者の一方が商館と独自に取引を行った場合

には、別に単独の「勘定口座」が設けられたようである。

Forij Itnocamij & Fonda Mimasacka donne, Officieren int Hoff van Sjine Majesteij. △陛下の首都の士官、ホリイツノカミおよびホンダミマサカドノであるが、寛永期に幕府の要路に、堀伊豆守という人物は見当らない。恐らくホリイガノカミの誤記ではなからうか。もしそうであれば、書院番頭を経て寛永五年に大番頭となり、のち奏者番、寺社奉行に累進した堀伊賀守利重に比定される。

ホンダミマサカドノは本多美作守忠相と考えられ、寛永九年に書院番頭となっている⁽²¹⁾。両人の名儀で、この年、十二月十日、平戸の奉行を介して総額一六貫九八九匁の商品を購入している。

Fonda Samondonne, Heer van Ongackij, int Lantschap van Mimo [sic]. △ホンダサモンドノ、ミモの国^(大田)のオングアキの領主

Fonda は Tonda の誤記で、戸田左門氏鉄。彼は寛永十二年、松平定綱の後をうけて大垣の領主となった⁽²²⁾。商館との関係は、十二月二十九日に大羅紗六三間半を銀十貫一六匁で購入しているが、これは平戸の商人平野屋作兵衛らの手を通じて平戸駐在の奉行に引渡されている。

以上は武家にして、「元帳」に「勘定口座」を有する者であるが、この他、十月十八日、△唐津侯(寺沢堅高)名儀で、絹物を中心に、羅紗類、砂糖、薬種など総額六貫九五九匁三分の現金取引が行なわれている。

ロ 商人階級 第一表、第二表から、前項の武士階級を除いた残りの者は、一応商人身分の者と見做して差し支えないと思うが、さらに一六三六年度に商館と現金取引のみを行なった者―但し白米取引のみのものは除く―で、氏名の判明する者を加えて、帳簿に記された出身地に從って示したのが第三表である。×印の者は、現金取引のみの者で、「元帳」では氏名の判らないもの、△印は、三六年度内に前期より繰越の負債を支払ったのみで、帳簿上他の取引の無かった者であ

る。

これらの商人達の間には、オランダ商館と取引額の寡多や、親疎の度合に差はあるが、一六三六年を中心とする一定期間における、オランダ商館の固定的取引相手、常客とも称すべきグループである。×印の者を除き、彼らの取引は、帳簿上商品を現金取引した例は極めて少く、商品を引渡して支払まで、数ヶ月から一年近くの期間があり、次のモンスーン期^(補註)に、銅で決済するといった例も少くない。

これを出身地別に眺めると、堺・京・大坂の出身者の比重は矢張り大きく、地元の平戸や長崎を圧している。また、アガタソーヤ、タチバナタヒーエの如き江戸商人の進出も注目に価しよう。尤も、この事実から、直ちにオランダ貿易における平戸町人の劣勢を結論することは出来ないが、「探索書」の筆者が、

「平戸より唐へ舟を渡し申者候哉と尋候へは、其程のぶげんの者もなく、其上御朱印なく候てハ渡し申儀不成候……」⁽²³⁾

と報告しているように、平戸には、京・堺に見られるような大形の遠隔地商人が少かったことは事実であろう。特権的商人である平野屋作兵衛以外に平戸出身の商人でオランダ商館の帳簿上にその商業活動を明瞭にし得るのは、ハリマクロザエモンと平戸出身と推定されるマチハチロベエ位である。

このことは、平戸商人が領主松浦氏の一代理人または御用達を勤めることにより、また貿易のために各地から平戸に集る商人達に仲買的機能を果たすことによって貿易利潤の分け前に預る、といった性格を持っていたためではなからうか、これは長崎の地下商人についても同様であろう。

商館との関係の親疎の面では、堺のトウザエモン(飴屋藤左衛門)、同、カワヤジュエモン(一六三六年代のカワヤシンクロウはその一族と思われる)、同、ジンベエらは取引関係も古く、かつオランダ人と可成

親密な間柄であつたらしい。⁽²⁴⁾ また、末次平蔵・カナヤスケエモン・カワヤシシクロウ・サカイヤリヘエ(堺屋利兵衛)・オオサカヤゴロベエ・安知子ヤソザエモン・筋屋藤左衛門などからオランダ商館はしばしば貿易資金を借入れて居り、一六三六年度にも、末次平蔵・カワヤシシクロウ・カナヤスケエモンから六ヶ月、または三ヶ月と期間を限って借入れている。⁽²⁵⁾

彼ら、平戸オランダ商館の常客たちの中には、「何某侯の御用商人」と明記された者も二、三見うけられ、諸藩の御買物掛りとして輸入物資の確保に従事し、領主財政の一環を担っていた者も少くない。セキッ(紀州侯)、天野屋藤左衛門(肥後細川家)などはその所属の明かな例である。その他、前記の堺のカワヤシシクロウは、十月一日付で、銀三百貫目に月一分の利子を付し、三ヶ月を限ってオランダ商館に貸付けている。⁽²⁶⁾ その際、彼は肥後侯、即ち細川家の代理人 (factor, ie comptador) と云う肩書で債権者になっている。この事実は細川家の投銀の問題に関連して興味ある事実であるが、これらの事実から逆に、当時平戸オランダ商館の常客として、オランダ貿易の可成りの部分に影響力を持っていた商人達の性格を探る手掛りが求められよう。

(補註) 本稿で各商人の「出身地」と云う場合、あくまでもオランダ側史料に「何処々々の商人誰某」と示された地名のことである。従って、それは出身や生国に関係なく、その地に店舗を構えている者の場合もあるうし、領主の御用商人の場合はその領主の領国所在地であるかも知れず、或はその他の住民という場合もあり、単に生国を示す場合もあるう。又、「堺商人」と記されても、京都、大坂で同時に経営している場合もあるから、「この「出身地」と云う言葉を単純に解釈しないで欲しい。

二、一六三六年度におけるオランダ商館と日本商人の取引状況について

前節に述べた「元帳」に「勘定口座」を有つ日本側商人を中心に、

彼らが一六三六年度に、商館といかなる取引を行なったか、就中、取扱商品と金額を中心にその実態を示したのが第四表の一〇三五である。

第四表は、第三表の人物中その三五名について、彼らが商館から購入した商品および商館より支払われた現金を、A欄とし、彼らが商館へ販売した商品と支払った現金をB欄として、各欄とも商品の品目毎に纏めて、数量単価金額を示したものである。典拠はいずれも「平戸オランダ商館一六三六年度仕訳帳」『Journal 1636』(Archief Ned. fact. Jap. No.11827)であるが、本史料は十月二十三日以降十一月二日までの数丁が欠落しており、この分を「平戸オランダ商館一六三六年度元帳」『Groot boeck vant Compt. Firando Ao.1636』(Archief Ned. fact. Jap. in Japan. No.11842)によって補つ、かく、これによって全体を点検した。

第四表の記載について説明すると、第一に、本表は一種の元帳的記載である。A欄は借方要素であり、B欄は貸方要素である。但し、「元帳」には記載されている期首期末の繰越金額は記載せず、また現金取引された商品で「元帳」の「現金勘定」に記載される商品でも、買手の判明するものはその数量・単価・金額等を記載した。この場合はその項目の頭に印を付け、備考欄にその旨を注記してある。

商品の排列は、大体、白糸・絹織物、綿織物、毛織物、皮革・染料・砂糖類、香木・薬種類、荒物の順になっている。但し、商品名の中には、訳語として猶検討を要するもの、同一名で絹物と綿物とがあり原典の注記のみでは一方に決定し得ないもの、その実質の解らぬものなどが少なくない。これらは今後とも検討を続ける必要がある、本表の商品名は、その点で暫定的のものである。大方の御批判と御教示を乞う次第である。

数量単位について、端物類はすべて「反」、皮革類などは「枚」「箇」などに便宜上統一したが、共に原語は *stuck*, *stuck* である。従って

同じ「反」で示されても、端物の種類によって規格は異り、原典には往々、幅員、長さなどに関する注記があり、本表もこれを注記した。

大羅紗については、長さが数量の単位となり、「エレ」と「間」の二重標記である。「間」は *ikkye idjens* と書かれ、日本語の間が転訛したものらしい。凡そ三エレが一間に換算されている。重量単位は一カター (*cati*) を一斤と訳した。百斤 (百カター) は一ピコルである。金額は原典ではテールとグルデンの両者を併記しているが、本表ではテールのみを用い、丁の略号を使用した。一テールは銀一〇匁に当る。

イ、購入商品 第四表の一―三五は、各商人別に購入・販売・支払の状況を示したもので、順序は出身地により堺・京都・大坂・江戸・紀州・九州地方・出身地不明の順になっている。彼等の買取った商品の種類を大別すると、

生糸 (白糸・黄糸・ボイル糸・片撚糸・広南生糸・東京生糸)

絹織物類 (綸子・紗綾・縮緬・海黄・天鷲絨・緞子など)

木綿類 (小金巾・ギネヤ木綿・カンガン布・バフタ・セイラス嶋・皿紗など)

毛織物 (大羅紗・小羅紗・呉紹服綸・カルサイ・ヘルサイなど)

皮革類 (鹿皮・鮫皮・鞣革―主としてスペイン製のもの)

染料 (蘇木など)

砂糖

薬種、香料・香木類

象牙

金属類 (亜鉛・水銀など)

右の如くである。これら輸入商品についてはすでに二、三の研究があるので、ここでは詳述しないが、従来、当時の国内需要の面からは、第一に生糸と絹製品が最重要の商品とされ、量的な面からは、鹿皮、蘇木がこれに次ぐ重要物資と見做されている。この観察は、一六三六

年当時 に於てもほぼ妥当であろう。各商品の全体的な輸入量については続稿で綜括する予定であるが、一六三六年の主要商品の規準単位当りの価格を見ると、(第五表、但しこれは第四表のA欄より作成した数値で、オランダ商館が取引相手の商人達に引渡した際の価格である)。特殊な香料・香木・極上の鮫皮を除き、生糸類は単位当りの価格は二〇〇テール、即ち銀二貫匁以上と他種に比べて可成り高額である(例外的数値を除く)。これに価格の上で比肩し得るのは、小羅紗類と鮫皮であるが、生糸類の場合は取引される数量が他商品に比して圧倒的に多いので、価格・数量の面で生糸類は第一位の商品と見做してよい。従って、第三表に掲げた商人も殆どの者が生糸、とくに白糸を購入している。彼ら(第三表中、△印と×印の者は除外して)のうち白糸を購入しなかった者は、堺のゴロベエ(四一六)、同アガクロエモン(四一八)、京のコンシタロエモン(四一三三)、オビヤキエモン(四一四四) マツバヤスケエモン(四一十六)、ゴザエモン(四一三五)の六名である。右の六人中、京のオビヤキエモンは、第三表に掲げた商人中、商品購入額が銀七四七貫七〇〇匁九分と第二位を占め、その購入金額の大半である六六九貫二六五匁九分は東京生糸、ボイル生糸、片撚糸の購入に充てられているにもかかわらず、白糸を購入していないことは不思議である。

生糸以外の絹製品は、概して多くの商人がこれを購入している。オランダ人は日本向けの綸子、縮緬、縐子などは主として中国産のものを輸入しているが、これについては同時代のポルトガル船の舶載量を無視することが出来ないから、オランダ商館の資料のみから動向を決定づけることは出来ない。

生糸、絹物につぐ主要商品と見做される鹿皮、鮫皮の購入については、絹織物以上に顕著な傾向を示している。これらの皮類は、武具や工芸品の素材として多量の需要がある貨物であるが、まず鹿皮 (*Caracul*・*car*) には、台湾鹿皮と暹羅鹿皮があり、朱印船貿易盛なりしころに

は、その主要な輸入品であった。⁽³⁴⁾ 一六三六年度には、台湾鹿皮は六〇、四四〇枚が輸入されたが、そのうち四一、〇八〇枚を京都のソーエモン及びシチビョーエ(四一十二)が、一九、二一五枚を堺の饒屋藤左衛門(四一二)が買取っている。暹羅鹿皮は同年一〇三、四八〇枚が輸入されたが、これを前記ソーエモン及びシチビョーエが総て買取っている。

鮫皮(rochevellen)は鱈の一種のロホと称する魚の皮であるが、同年には前年来の在庫品五四七枚のほかに四九、七七八枚が輸入された。⁽³⁶⁾ 在庫の五四七枚は六月二〇日に八多くの人⁽³⁵⁾に七貫九四〇匁で現金売りされ、当年輸入分のうち一一、五〇〇枚が十月十二日に、二九、一八〇枚が十二月三日にそれぞれ京のカナヤスケエモン(四一〇)に引渡され、六四六六枚は十一月十五日に現金売りで京のサニヤソーエモン(四一十七)に販売された。残りは、將軍家買上げとなつた五枚を除き、八多くの人⁽³⁵⁾に現金で数次に亘って売り渡されている。

以上のことから、鹿皮・鮫皮はいずれも少数の特定の商人に一括して売り渡されていることが理解される。このことは、貿易商人の専門化の問題として興味ある問題であるが、彼らの国内における販路が解明されねばなるまい。

鹿皮・鮫皮と同様の傾向は蘇木(sappan hout)についても見られる。一六三六年、蘇木は四八五七〇〇斤輸入され、内、三一一、六七六斤が堺のサカタソージロウ(四一四)に、二二、一一六斤が大坂のゴロベエ(四一十九)に売却された。これら南海産の商品は、寛永一〇年鎖国令発布以前は、朱印船貿易家によって可成りの量が日本へ齎らされていたもので、日本人の海外渡航禁止の結果、朱印船貿易家の輸入をオランダ東印度会社が殆ど肩替りしたものである。⁽³⁷⁾ これらの商品を専門的に取扱う商人達は、いずれ、朱印船貿易家と直結した商人であつたと思われ、或いは自ら朱印船に乗り組むなり、直接これに投資

していた商人達ではなかつたらうか、彼らの出身地が京・堺・大坂であること、商館との取引期間が比較的長く、取引金額も大きいことから考えて、朱印船貿易に直結する大形の遠隔地商人であり、有力な高利貸的資本家であつたことを推定させるものである。

最後に、綿製品・毛織物類についてみると、木綿は、十七世紀中葉以降、大坂周辺をはじめとする所謂先進地帯を中心に、国内生産が広まってゆくが、上質のもの、特殊な織物は其後も永く輸入品が珍重されてきた。鎖国形成期においては猶更、輸入木綿の需要比率は相対的に高かつたであらう。この場合、幕藩領主の家臣団に対する給付が、輸入綿布の需要の可成りの部分を占めていたのではなからうか。⁽³⁸⁾

絹織物が主として中国、綿織物が主としてインド方面から輸入されたのに対し、毛織物はヨーロッパから輸入されるものが多かつた。その代表的なものは羅紗類で、非常に種類が多い。高価なものは絹織物同様武家の贈答品に多く見られる。⁽³⁹⁾ これら木綿織物・毛織物類は、猶、生糸類に及ばぬとはいへ、漸時輸入量が増加する傾向にある。

ロ、取引決済 初期の貿易が外貨の輸入に対して、銀・銅を以て専らその決済に充てる典型的な片貿易であつたことは、既に指摘されている。この点は第四表のB欄にも明瞭に示されている。即ち、購入貨物の代金は大半が現銀決済であるが、その他、銅(延板銅・棹銅・玉銅・ゴキ銅)、銅銭(casjes, ofte Japanese zenes)が決済手段に充てられている。尚、事例として余り多くはないが、鉄・木材・樟脳・米・小麦粉・塗物・机・盃などの輸出品の存在も看過することは出来ない。

前節のロ、で述べたように、ここで取扱っている商人—オランダ商館の常客たち—の取引の主要部分は「掛け買い」であつて、貨物を受け取った時に代金を即座に支払う「現金取引」の事例は極めて尠い、これについてナホットも、「和蘭人は必ずしもその渡した貨物に対して順々に代価を受取つた訳ではない。寧ろ彼等は、例えば銅に対して

品物を売る場合、その銅を鉱山から出る程ずつ順次受取るという方法をとった。ために輸入に對する代価は時として輸出の中に見られ、交易の翌年の所得の中に現われ、更に売却されずして日本に滞留している貨物の中に認められるのである。⁽⁴⁰⁾と指摘しているが、これは「仕訳帳」の記載と照し合せた時、誠に正鵠を得た指摘であることが解る。

このように「延べ払い」が多かったことは、当時一般的の商業習慣であつたこともあるが、同時に、流通機構の未熟な段階では、一時に大量の商品を集荷することが困難であつた点と、季節風利用の交易の結果、貿易期間にあてられた一時期に、輸入物資の供給が集中するため、購入すべき物資を一時に多量に請け取り、その決済はなし崩しに為された事によるのであらう。さらに、彼ら日本側の貿易商人は、平戸のオランダ商館のみならず、長崎のポルトガル船や中国船との取引も同時に行つていたことが推測され、平戸での交易はむしろ副次的のものであつたのだらう。これを裏書するものとして、一六三七年三月二十四日付のヘンドリック・ハーヘナールの報告書は、

「〔長崎に〕葡船到着時には都、堺、大坂その他商都の商人等は大方ガリオタ船が九月の定期までに出帆するを知り居て、現金銀、通貨を携えてこの地に蜚集し、その現金を投じて上等広東製品等に換ふるなり。彼等は取引終りて主錢を投ずるや、言わば通りがかりに平戸に立寄りて貴会社（オランダ東インド会社「引用者」）の社員等と交易せんとするなり。彼等の或者は後続船をもつて相当の銅を支払い、或る者は最後の出帆船の去るに方り銀をもつて支払う。この期過ぐれば帰途遙かなり、とて立去る。⁽⁴¹⁾」

と報じている。従つて、彼らの主目標が長崎に來航するポルトガル船の積荷にあり、これに多額の現銀資本を投入する關係上、平戸オランダ商館との取引は勢い延べ払いになつたことも予想される。

一六二一年四月にバタヴィアを解纜した「ライデン号」の積荷の中に日本から輸出した銅として次の四種類のものが見出される。⁽⁴²⁾

一、棒状の精製されたる銅 *fijn koper in staelfkens*.
二、薄板銅 *blaad koper*.
三、パン状の赤銅 *rootkoper in broden*.
四、粗銅 *rouwe koper*.
一六三六年の「仕訳帳」にも、右の一・二・三に相当するものが見出され、商品として夫々區別して取扱われている。即ち、

一、*Staelges cooper*. 棹銅。

二、*Plaet cooper*. 延板銅。

三、*Gockies, ofte broot cooper*. ゴキ、即ちパン型の銅。（玉銅と訳す）

の如くである。棹銅はのちにオランダ商館の主要な輸出品となるものである。延板銅は文字通り薄板状の銅であらう。精製されたものは好んでヨーロッパ製品の代金支払に充てられている。パン型の銅、玉銅と訳したが、原史料に「ゴキ」と併記されているが、恐らく丸味おびた銅塊であらう、延板銅などに比して若干価格も廉い。「探索書」の小倉藩（細川氏）の条に、

「一、土井の淨甫と申者之舟、毎年かうちへ御朱印を申上渡し申由、何をいつもつミ渡し申由尋候へも、能扇子・ごき銅などをもち参る由、ごき者何ニ成申と尋候へも、盃ニ唐人のい申之由、能扇子ハ事之外馳走仕候由、唐ノ扇ハ風あたり不申由申候」⁽⁴³⁾

とあり、文中の「ごき銅」がこれに当るであらう。尚、これについて武野要子氏は、「輝銅」即ち銅の原鉱であらうと推定される。⁽⁴⁴⁾

オランダ商館の取引相手の各商人について見ると、一六三六年に、銅を決済手段に充て、或いは輸出した者は、第三表の三十五人中、

（堺）ジンベエ・トウザエモン・サカタソウジロウ、（京）カナヤスケエモン・サカイヤリヘエ・ソーエモン及びシチビョーエ、（江戸）アガタソーヤ、（平戸）サクベエ、（不明）ヤマザキヤスケイチ・マチハチロベエ、

の十名である。

そして、銅輸出に従っている商人は、平戸商館の取引相手のうちでは、取引額も多く、主だった商人に限られている。恐らく、銅の生産地と、その精製過程に直結し得る条件を持った者に限定されていた結果と考える。例えば、町人考見録に、仙台侯の御用商人で、京の阿形宗珍と云う者が、元禄期に倒産した例が述べられている。この宗珍の祖先は明暦の大火頃まで江戸に住い、奥州延沢の金山で成功し富を築いたと云われるが、恐らく、江戸のアガタソーヤ(四一二十一)はこの宗珍の祖先に当る人物で奥州筋の鉱山に直結した商人という推定が成り立ち、専業の銅商人として原銅の集荷と精製、精銅の輸出に関与していたものと考え⁽⁴⁵⁾る。

これに対して、可成りの取引規模を持ちながら銅輸出に関与せず、現銀決済に終始している者も少なくない。例えば末次平蔵が一例であるが、彼は、反面、オランダ商館に毎年多額の現銀資本を貸付けており、彼の銀による商品代価の支払も、オランダ商館への現銀投資——一種の投銀類似の行為——の問題と関連させて理解すべきであろう。即ち、高利貸的利潤の追求を敢くまで前面に推し出してゆくタイプの商人資本であって、この様な性格は、当時の貿易商人に共通した一つの特徴である。

一六三六年の銅の輸出価格は一ピコル当り、棹銅が一三テールから十一テール、延板銅が精製された上質のもので一ピコル十二テール、普通は十テールである。玉銅、即ちゴキ銅が一ピコル九テール程である。羅紗類・天鵝絨・英吉利緞子・西班牙鞆革・鏡などのヨーロッパ産の貨物の代金には、一ピコル十テールの延板銅がこれに充てられている。

銅以外に、注目されるのは、平戸のハリマクロザエモンが精製された棹状の鉄を四二、六九二斤輸出していることで、この年鉄を取り扱った商人は彼一例である。このクロザエモンは別の年に薩摩産の樟脳

をオランダ商館に輸出しているが、⁽⁴⁶⁾三六年度の樟脳は、すべて現金取引され、取扱商人の氏名は判明しない。因に数量を示すと、

二月三日	七三六四斤
六月二〇日	八五二〇斤
十二月十七日	四一八三斤

となっている。

以上の輸出品のほかに、食料品として米、小麦粉、大豆、鯨油など、原料資材として木材、樹脂など、工芸品としては漆器、机、盃などが挙げられる。これらの輸出品は、前記の商品以上に取扱商人が限定される。

米を主とする食料品は、バタヴィヤに輸出されるが、殆ど松浦氏の私方に属するもので、松浦氏の年貢米市場がオランダとの交易に大きく依存していることを物語っている。木材は松浦氏はじめ平戸の大工ヤエモン、平戸のサクベエ、大坂の宿主ゴロベエなどで、船舶や商館の家屋の修復に供せられるもので、現地調達への傾向が強い。

工芸品は、漆器とこれに鯨皮、銅製裝飾品などをあしらったもので、机、箱、盃なども含む。漆器についてはマキヤシエモン——常に塗物師と云う肩書が添えられているが、彼から総て購入している。恐らく平戸侯御用の塗物師であろう。一六三五年頃から、このマキヤシエモンはじめ大工ヤエモン、鍛冶のサンザエモンらが商館の白糸を購入しているが、領主御用のこれら職人が、その地位を介して平戸商館に特殊な製品・技術の提供を行ない、その代価に白糸購入の権利を与えられているのではなからうか。

三、白糸の取引について

最後に、当時の白糸について見てみよう。本稿で白糸と云うのは、オランダ史料に *rouwe witte zijde* と書かれた中国産の白生糸のことである。同じく、生糸には東京生糸・広南生糸・ベンガル生糸などが

あり、シナ生糸にもバギー生糸又は黄糸と称するものもあった。しかし、日本では白糸が最も珍重され、取引の上でも特に区別され、「元帳」「仕訳帳」の上でも他の生糸と混同されたケースはない。

本稿では、オランダ商館の取扱う白糸がどのようにに販売されたかという点を見てゆきたいと思う。猶、オランダ商館の白糸輸入量は一六三五年より飛躍的に増大し、十萬斤の太台を超えたが、同時にこれに對するパンカド（糸割符）の適用が問題となってくる。

一六二四年より三五年までの白糸販売状況

第六表は一六二四年より一六三五年までの「元帳」を中心に、その「白糸勘定」の貸方欄より白糸の取引を、買得人氏名、出身地、取引年月日、取引斤数、価格について人別に纏めたもので、猶、現金取引については「仕訳帳」によって内訳、買取人等を明かにした一覧表である。この表は、すでに、拙稿、「成立期の糸割符に関する一考察」に發表したものであるが、その際の誤植と脱落を訂正追補したものである。まず一六三五年までの傾向を概観してみよう。

オランダ商館は台湾事件の報復措置として一六二八年より三二年まで、幕府から貿易差留を受け、その間、一六三〇年に一部の在庫品の販売を許された。第六表のC、一六二八—一六三三、は、丁度その期間に相当する。ところで、オランダ商館の白糸売買は、この期間を境に、前後でその傾向を異にしている。

まず前半の時期（一六二四—二六、一六二六—二八）を見ると、まず現金取引の件数が非常に少いこと。取引相手も京・堺・江戸出身者を中心に、いわゆる常客が主である。とくに、トウザエモン（筋屋藤左衛門）、カワヤジューエモンはオランダ商館とは親密な関係にあったらしく、堺のジンベエ、トウザエモンは共に一六三六年に於ても相当額の取引をしている。カワヤジューエモンは恐らく一六三六年のカワヤシンクロウの一族（恐くシンクロウの先代）であろう。平戸のサクベエは平野屋作兵衛で、一六三六年まで一貫するものと考ええる。さら

に、京のリヒョーエは、一六三六年のサカイヤリヘエと同一人物ではなからうか、其他大坂の宿主ゴロベエも一六二七年には白糸買取人として登場している。

貿易差留期間を含む中頃の時期について、この時期に入ると、地元平戸の住民の数が急増し、かつ現金取引の比率が逆転する。但し、貿易差留と、一六三〇年六月末日の平戸侯の命による在庫の処理など、特殊事例と考うべき点もあるが、この時期を契機に平戸住民の白糸貿易参加の途が開けたことは明かである。この点について見ると、一六三〇年六月三〇日に、一万五百斤を京・大坂・堺・長崎・博多などの商人に現金売りする一方、五千斤を平戸の全市民に現金売りしている。この平戸市民全員に対する白糸の現金売渡しは一六三四年に六〇八二斤、三五年に六〇四六斤、三六年に五〇〇〇斤、三七年に六〇〇〇斤と云う具合に以後も引続き行なわれ、商館の長崎移転後は糸割符の分国糸の配分に切り替えられる。この問題については後段で再び述べよう。

平戸の住民に対する売渡しは、かかる市民全体を対象としたもののほかに、一六三一年には、平戸町の市民代表として、ヒラノサクベエ、コバヤシヤヒョーエ、モリサンエモン、コンドーイチザエモン他の六名に合せて六一七斤の白糸が売渡されている。彼らは、夫々、平野屋作兵衛・小林与兵衛・谷川利右衛門・盛三右衛門・米屋彦右衛門・近藤市左衛門であり、⁽⁴⁸⁾彼らは平素領主の御用を勤めるいわば特権商人的存在である。

次に一六三三年から三五年、および一六三五年度の動向を見よう。堺のジンベエ・トウザエモンをはじめ、京のカナヤスケエモン・ソーエモン及びシチビョーエ・堺のカワヤシンクロウ・サカタソージロウ・江戸のアガタソーヤ・長崎のミヤザギ、其他マチハチロベエ・山崎屋助市郎ら、第四表で検討した平戸オランダ商館の常客の顔ぶれがほぼ揃うことになる。彼らはいずれも白糸を掛け、即ち延べ払いで

購入している。

現金取引の方は、一六三三〜三五年では、一六三四年十月に前記の如く、「平戸町六ヶ町の市民」(Burgerij van de ses straten van Firando)に売渡された六千斤余と、リザエモン・ゴロサク・シチロエモン・サブロザエモン・大工ヤエモン・鍛冶カンザエモンら六名に合計三四〇〇斤売り渡したのがその主要部分であるが、リザエモンは或いは松浦家の買物掛のボンジョイ、リザエモンと同一人かも知れない。他の者も宿主、大工、鍛冶などで、松浦氏との特殊な結び付きで白糸購入の権利を得たものであらう。

一六三五年度、これより帳簿の会計年度は一ケ年となる。またこの年から、オランダ船に依る白糸の輸入量が増大し、従って取引人の数も急激に増加する、それはとりわけ現金取引の増加として現われる。延べ払いのグループはほぼ一六三六年の顔ぶれであるが、現金取引は、九月三〇日：a、十月三十一日：b、十一月六日：c、十二月十日：d、十二月十一日：e、の五回に行なわれている。

a のグループは平戸町六ヶ町の市民に対する配分、ジュヘエヤヘエ・シンエモン・スケエモン・サンザブロウ・シンザエモンら平戸商人六名、其他松浦家の御用商人・船手方などである。メルヒオール・ファン・サントフォールトとビセンテ・ロメインは長崎在住のオランダ商人で、(ロメインはスペイン系) 朱印船貿易家でもあった。

b グループ、この年から平戸の副港、河内浦の町民に対しても白糸の配分が行なわれる。其他、大工ヤエモン、鍛冶サンザエモンなどが加わっている。

c グループ、サクエモン・ショーズエモン・ヒコエモン・シロベエは、長崎の町年寄、高木作右衛門・後藤惣左衛門・高木彦右衛門・高嶋四郎兵衛の四名である。其他、細川家の御用商人で長崎に屋敷を構えている天野屋藤左衛門や幕府老中の紹介者などが含まれている。さらに松浦内匠、松浦蔵人、大学殿など松浦氏の一族、家中が加わ

る。

d グループ、買得者の氏名は明かでない。

e グループ、松浦隆信と、その大坂の蔵宿、彼の紹介による平戸商人十一名より成る。

以上を要約すると、平戸オランダ商館の白糸取引は、当初(一六二〇年以降二八年までを指す) 上方商人を主体とした比較的小数の商人団と恒常的な取引関係にあり、彼らは鎖国形成後も取引関係を持続する者少からず、商館の一定の顧客となっていた。一六二八年から三年に至る貿易差留の間、幕府の統制は、松浦氏を介して間接的であるが強化され、取引の面でも幾多の制約が派生する⁽⁴⁹⁾。そしてこの時期から、地元平戸の住民の貿易参加が始まる。この場合、平戸町の全市民、河内浦の全市民に一定額の白糸を配分するのであるが、これを仮りに「惣町割賦」と名づけよう。また、平戸町の特権的な商人、領主と特定のコネクションにある者、長崎の有力者、幕府閣老の紹介者、諸藩の御用商人などが加わるが、平戸出身者の場合、以前より広汎圏の人間がこの白糸取引に参加することになった。これらの者は、殆どが現金取引で白糸を購入している点、それ以前からの常客と異なるのである。

一六三六年度の白糸取引 第七表は三六年度「仕訳帳」より、同年の白糸売出しの状況を、売出日毎に纏め、その日の売出総額、買取人の氏名・出身地・買取斤数・金額の明細を示したものである。各表の見出欄中に、(生糸勘定)とあるのは、その日の売出自糸が掛売りで購買者に引渡されたことを示し、(現金勘定)とあるのは、これが現金取引されたものであることを示す。

この年の白糸の売出しは、一、すべて一ピコル当り二六七テールのパンカド価格で売渡されていること。二、十三回の売出日に纏まった量の白糸が、売り出され、二、三の例外を除き、少量の白糸をなし

崩しに売り渡すことをしない。三、一口当りの買取斤数が大は五千斤から小は五〇斤まで、段階を設け、原則として一人に一口づつ売渡されている。四、現金取引が圧倒的に多いこと。五、従来、商館と恒常的な取引関係にあった商人以外に、京・堺・長崎・江戸・大坂の所謂五ヶ所出身者を主体とする、多数の商人が白糸取引に加わり、彼らは総て現金取引をしていること。六、平戸の住民（松浦氏の一族、家中を含む）に対する売出日が他所の出身者と切り離し、纏められたこと。等の特徴が窺える。

売出日は、九月二十九日、三〇日、十月二日、三日、四日、五日、七日、八日、九日、十日、十五日、十八日、二〇日の十三回で、例外的に、十月二日、八日、十八日に、夫々青山幸成（五〇斤）、長崎の宮崎（八〇〇斤）、堺のカワヤシシクロウ（八〇〇斤）、十一月二〇日松浦隆信（一五〇斤）へ、他の商品と一緒に掛け売りされている。この他、当年のモンスーン季以前に、六月二〇日、多数の人へ五八斤が一ピコル当り千テールで現金売りされているが、この売渡しは、当年分から除外して考えても差し支えないであろう。

扱て、カワヤシシクロウに売り渡された四件と、他の二回の売出日に行なわれた「掛け売り」分を見ると、その取引相手はいずれも数年来オランダ商館と恒常的取引を有し、他の多くの商品を延べ払いで購入している常客グループである。また、一六三〇年以降漸増増加している平戸住民（松浦氏一族・家中・特権的商人を含む）の買付けは、十月十日、十五日、十八日、二十日の四回の売出日に纏められている。そして、残る七回の売出日はすべて、新たに参加した多数の商人団に對する売渡しに充てられた。

この新たに加わった商人団は、肥後の天野屋藤左衛門のように、以前から数度、商館と取引関係のあった者を除くと、大多数が、当年初めてオランダ商館の帳簿にその名を留める者であるが、彼らは、所謂、「不特定多数」の要素に入る可能性を問題外とするならば、当

年、白糸取引以外の取引に名前を見出すことが出来ない。謂わば、一六三六年に入って、白糸取引のみに突如として参加した商人団である。

この事は一体何を意味するのか、恐らく、彼らは五ヶ所仲間⁵⁰に属する商人団であって、オランダ商館は、一六三六年より、その舶載白糸の大半を、これら商人団に決められた価格即ちパンカド価格で引渡すことを余儀なくされた⁵⁰と理解すべきであろう。この新たな商人団の進出は、翌年さらに顕著となり、一六三九年には白糸売上総数⁵¹一二万二四三斤が十月二十三日付で一括して現金売りされるに至る。彼らのうちには、一六三七年以降、白糸以外の商品を買付け、オランダ商館の常客として帳簿上にその名を固定してゆく者も無いではない。しかし、大半の者は、白糸取引以外には商館に對してフレムトな関係にある。

平戸住民 (Urwouders van Firando) に対する売り出しが、前記四回の日に纏められたことは、彼らに対する白糸貿易の分け前が確定したことを意味する。その内訳は、松浦氏とその一族・家中に對する売り渡し、町年寄クラスの特権的商人・松浦家出入の職人層に對する売渡し、一般商人中特定の者への売渡し、平戸町、河内浦の住民全体に對する「惣町割賦」から成っている。元来、平戸と云う町は、ヘンドリック・ハーヘナールが「漁家と貧民との烏合村落」と評したよう⁵²に貧しい町であり、一六三〇年六月、商館長ナイエンローデが商館の在庫の四分の一を「平戸市民」に売り渡すことを余儀なくされた時、彼らは「代価として支払うべき一スタイフェルも持たぬ」⁵³貧しい輩であった。平戸町が、町場として発展し、商人が育ってゆく条件は、松浦氏の城下町としての位置も去ること乍ら、オランダ、イギリス両商館がここに設置され、海外貿易の基地が築かれたことがより大きい。平戸市民は、英・蘭商館と日本の貿易商人との交易に寄生しつつ漸時、中継市場における地歩と地盤を固めたのである。所謂「惣町割

賦」は、そうした発展を促すための振興救恤策と評価することが出来る。中世末から、近世初頭にかけて、実に数多くの「都市」が形成されるが、これらのものには、領主権力によって上から創出されたものが少なくない。幕藩権力の商人資本に対する規定性は極めて強いものであるが、このことは、同時に幕藩権力の商人資本に対する大幅な依存関係としても現象する。領主権力の維持に商品流通の展開は必須であり、そのため、全国の商品流通の結節点たる都市、消費市場としての都市が要求される。領主権力による都市の自生的発展の規制と再編、さらに領主の手による町場の形成が見られる。「惣町割賦」は、こうした過程の中で、都市の自生的発展の条件を欠くところに、領主経済の一つの中心となるべき都市の形成が、外国貿易を媒介として、強行されてゆく、領主側の都市政策の一具体例を示すものである。尚、「惣町割賦」は其後も続き、平戸、河内合せて六千斤余が確保され、オランダ商館の移転後は、分国系の配分に切り替えられる。

むすび

以上、平戸オランダ商館の一六三六年度の「仕訳帳」を素材に、当年における日蘭貿易の実態の一断面を眺めて来た。但し、本稿では、領主階級による商館との取引や、オランダ東インド会社から日本の領主層への献上品、全体的輸出入量、不特定多数要素たる諸商人の取引等を割愛しているから、勿論一年度における完全な資料ではない。さらに、一年度のみのデータによって、平戸オランダ商館の貿易全体を論ずることは不可能であるから、本稿では全体の分析と総括は差し控えるものである。ただ、本稿に提示したデータをもとに、当時の商人資本の性格について、若干私見をまとめてみたい。

まず、オランダ商館との取引相手には、一定の恒常的取引関係を有する商人たち、即ち常客が在ったこと。彼らは、一六二〇年代から三〇年代中葉にかけて、その数を漸増してゆくが、オランダ商館の取

引の中心をなすグループであったこと。

彼ら常客の主力は、堺・京・大坂に経営の主たる根拠地を置く商人であり、これに江戸・長崎・平戸を根拠地とする商人が加わっていた。彼らの購入する商品は、白糸をはじめ、絹製品・高級毛織物・皮革類・香料など、領主的需要、又は領主的商品流通の展開過程で必要な初期の都市における需要に応ずる奢侈品であり、また同じく領主的需要でもある綿製品などであった。

これに対する決済は、銀資本を主とし、銅を加えた貨幣素材が大部分であること。若干の国産品輸出も、米・麦・木材など原料品・食料を主とし、都市的手工業生産物は少く、それも主として地元平戸で調達されていた傾向が強いことである。これは、当時の社会的分業の発展が未熟なこと、それに伴う国内市場の狭隘性と、全国的商品流通の未発展に帰因するものである。そのため、国産品輸出も、食料・原料品の販売という極めてプリミチヴな形態たらざるを得ず、手工業製品の集荷も、(但し、この時期のオランダ商館のケースに限定するが)全国的な規模にはなり得ない。

一方、日本貿易の決済手段がこの時期、専ら現銀資本・銅・銅銭等、貨幣素材を主とし、食料・原料品以外の国産品輸出が少なかったことは、オランダ東インド会社のつらなる国外市場の要請に基く事でもある。周知のように、中国・インドなど東洋諸国における前期資本は一般に貨幣蓄蔵の性格が著しく、十六・七世紀の交、いわば日本は彼らに対する銀資本の供給源となったのである。

これに対して、当時、日本の商人資本には、貨幣蓄蔵の性格は比較的稀薄で、それはむしろ秀吉・家康らの支配者たちに著しいものであった。初期商人資本は、形成期幕藩権力の流通過程における代理人なしいし執行人として組織され、その全国支配の物質的基礎を固めるため奉仕せしめられた。幕藩制形成期における、このような商人資本に対する強力な規定性が、当時の貿易商人の活動形態にも大きな影響を及

ぼすことは云うまでもない。彼らが、多額の現銀資本と銅を以て、奢侈品の購入に腐心している状況はこうした点を物語るものであらう。

(付記) 本稿に利用したオランダ国立ハーグ総合文書館所蔵の文書は、すべて史料編纂所架蔵のマイクロフィルム複本に依るものである。また、本稿は、昭和四十二年度文部省科学研究費(各個研究)による「鎖国形成期における貿易史料の研究」の成果の一部である。

(1) 「仕訳帳」Negotie Journal. 一六二〇年より一八〇五年度までの分は、オランダ国立ハーグ総合文書館の植民地文書第一一八二七号から第一一八四一号、および一八五六号の一部に収められ、複本を合せて一四六六点保存されている。うち、平戸関係は、複本一冊を含み、一六二〇年から一六四〇年までの分十三冊、一六二〇年より一六二八年までは五ヶ年間一期、一六三三年より三五年初頭までは三年間一期、一六三五年度より各年一期となるが、尚一六二八年より三三年までの六ヶ年は一期となっている。

「元帳」はNegotie Groot Boeck, Negotie Boeck, Groot Boeck.

一六二四年以降が残って居り、一八〇五年までの分は植民地文書第一一八四二号より一八五六号に収める。総数一四四点、平戸関係は一六二四年より一六四〇年まで十一冊。猶、以下註に引用する場合、「仕訳帳」はN. J. 1636. 「元帳」はG. B. 1636. の如くに註記する。

(2) N. J. 1636. 7 Oct.

(3) Getroffen prijs. 叩き値段とでも直訳出来よう、getroffen > treffen は打つ、叩く、捕えるなどの意味で、バンカドの原義には打つと云う意味があるといわれ、そこから転じたものであらう。

(4) Diary of Richard Cocks, Cape-Marchant in the English Factory in Japan, 1615-1622. 2 vol. London 1883. Passim.

(5) 松浦家文書、「宗陽公松浦隆信書状」(元和九)六月晦日、宗陽公以来之物。(京都大学文学部国史研究室編『平戸松浦家資料』一七九頁所収)

(6) N. J. 1626/28.

(7) 「筑前筑後肥前肥後探案書」

(8) Cocks Diary, Vol. II. pp. 348—349. Correspondence.

リチャード・コックスは一六二三年、平戸イギリス商館を閉鎖し、日本を退去するにあたり、当時京都に居た松浦隆信に使者リチャード・ハドソンを派遣し、音物と書状を遣った。その書状の文中に、

「私共はこの使者に將軍陛下の御朱印状を携行させました。この御朱印状は、我々の日本国内自由通交を保証するため賜はったものであります。が、トノンセンサマとナイゼンサマがこれを持参した方が宜しからうと指示されたのであります。御両人は、ことに依るとこれを顧問官に返還するように要求されるかも知れぬとのお考へでした。しかし、もし事が好都合に運ばなら、私共はこれを自分の手許に保存し得るよう請願したいと存じます。さもなくば、殿下の管理に委ねたく存じます。さすれば、我々が再び立ち戻りましたとき、より自由に入出入り出来るでありますから。」とあり、隆信の留守中、主殿と内膳がコックスらに指示を与えていたことが窺われる。(A Copy letter to Figeno Camme, the Kinge or Governor of Ferando, in Japon, sent by Richard Hudson to the Emperours court at Meaco, dated English Factorie at Firando, the 2th August, 1623, by Richard Cocks and Joseph Cockram.)

(9) N. J. 1636. 10 Oct.

(10) N. J. 1624/26. 6 Feb. 1625.

(11) 「寛政重脩諸家譜」巻四七五。

(12) Taekemonondonne タンケモンドンと発音されるが、同じ例は後述の牧野内匠頭信成の場合にも見られる。即ち「受発信書翰」一六三九一四〇の中に Mahino [sic] Taekemononocami, 又は「回」一六三三—一六三六に Takimonondone, タキモノ (Ontvangen brieven van den Jaere 1639 tot 1640. Kol. Arch. 11686, Boeck van de uitgaende brieven uit Japan, loopende van 7 Sept. 1633 tot 3 Febr. 1639. Kol. Arch. 11722.) 受つてこの場合もタキモノと訓んで差支をあるまい。

(13) N. J. 1633/35. 20 Oct. 1634.

(14) Dagb register gehouden bij den Oppercoopman Francois Caron van 15 Februarij tot 28 Aug. 1636, int' affwesen van den President

- Cockebacker naer Batavia. (Kol. Arch. 1032. Overgekomen Brieven uit Batavia, Jaar 1637-II. YY-2. p. 600.)
- (15) Translaet van de Missiven van de Heer van Firando als andere onfangen. (Kol. Arch. 1026. Overgekomen Brieven uit Batavia. Jaar 1635-I. WW-3. f. 169 v.)
- (16) 村上直次郎訳『長崎オランダ商館の日記』第一輯、はしがき、ボンニエについて詳しく説明されている。
- (17) 「寛政重脩諸家譜」巻六四四。
- (18) 同、巻三六七。
- (19) 同、巻七一八。
- (20) 同、巻七六五。
- (21) 同、巻六八五。
- (22) 同、巻九一四。
- (23) 「筑前筑後肥前肥後探索書」
- (24) 永積洋子訳『平戸オランダ商館の日記』第一輯、三七四頁。
- (25) 年欠八月二〇日付(日本暦・寛永十四年であろう) 商館長クーケバックルより、堺屋利兵衛、カナヤスケエモン(金屋助右衛門カ)、カワヤシンクカサリヤトウザエモン(大坂屋?)、ロウ・筋屋藤左衛門・オオサキヤゴロベエ・阿知子ヤンザエモン宛書翰に、彼らより借り入れる借銀の利子を下げてくださいよう申し入れた書翰があり、「元帳」にも、一六三六年を中心に、前後に彼ら名義の借銀勘定の口座が見られる。(Translaet van afgezonden Japansche missiven door President aen diverse personen. Kol. Arch. 1035. Overgekomen Brieven uit Batavia, Jaar 1638-II. ZZ-2. f. 20 v.)
- (26) N. J. 1636.
- (27) G. B. 1636.
- (28) N. J. 1636.
- (29) 武野要子「鎖国と細川藩」(宮本又次編『商品流通の史的研究所』所収) 当時の商品名、各種単位等は、オランダ語以外に、スペイン・ポルトガル語、マレー語、インド語などに語源を持つ当時の慣用語が多い。また、他の類似の商品の名を用いる場合もあり、難解なものが多い、これらの調査・翻訳には右の文献を適宜利用した。
- Yule & Burnell, Hobson-Jobson, A Glossary of Anglo-Indian colloquial words and phrases. London, 1903.
- Van Dam, Pieter, Beschryvinge van de Oostindische Compagnie. s^tGravenhage 1927-43. (Grossary)
- Boxer, C. R., A Great Ship from Amacorn, Annals of Macao and the old Japan Trade, 1555-1640. Lisboa 1959.
- Giamann, Kristof, Dutch-Asiatic Trade 1620-1740. The Hague, 1958.
- 森田千庵録「西語名寄」(片桐一男「阿蘭陀通詞・蘭学者の使用せる単語帳について」『文献』第十号、第十一号所引)
- 松平楽翁公手沢本「阿蘭陀名目語」
- 猶、輸出入品の名称、訳語等については、岩生成一博士主宰の物価史研究会に於て数年来調査と研究を重ねて来たが、本稿も同会に於ける研究成果に負うところが大きい、とりわけ、岩生成一先生、永積洋子氏、山脇悌次郎氏の皆さんから有意義な御教示を賜わったことを深く感謝する次第である。
- (30) 岡田章雄「近世初期の主要なる輸入物資について」(史学会『東西交渉史論』上)
- 岩生成一『朱印船貿易史の研究』
- (31) 或いはオランダ商館船載白糸がパンカドの適用をうけ、一人当りの買付量が制限されたために、投資を他種の生糸の大量買付けに充てたのかも知れた。
- (32) Giamann, K., op. cit. p. 12. et. seq.
- (33) 拙稿「成立期の糸割符に関する一考察」(宝月圭吾先生還暦記念会編『日本社会経済史研究近世編』)
- (34) 岩生氏前掲書。
- (35) G. B. 1636.
- (36) Ditto.
- (37) 岩生氏前掲書。
- (38) 武野氏前掲論文。

39) 「当代記」卷四(『史籍雜纂』第二、百二十一頁—百四十四頁)。

細川家文書「寛永十六年御音信帳」。

40) オスカー・ナホット著、富永牧太訳『十七世紀日蘭交渉史』一五一頁。

41) 同前、四一二頁。

42) Glanann, K., op. cit. p. 19.

43) 「筑前筑後肥前肥後探案書」

44) 武野氏前掲論文。

45) 「町人考見録 上」(『徳川時代商業叢書』一巻 一六〇頁)

46) No. 1. Copia Accoort van Campher tussen de Compagnie ende Farimaia Croseijmon. 30 Oct. 1639. No. 2. Translet verclaringe van Farima Crosemon, Coopman ende burger in Firando van't gepasseerde tussen hem ende den ondercoopman Willem Versteegen nopende den opcoop der camphers in Satsuma. (Kol. Arch. 1040. Overgekomen Brieven uit Batavia, Jaar 1640-II, BBB 2. pp. 127-128.)

47) 前掲拙稿。

48) 松浦家文書、「宗陽公松浦隆信書状」九月朔日。御判物御書拝領之書出(前掲『平戸松浦家資料』一七三頁所収)

49) Remonstrantie wat men tegenwoordich met goede profijte ende verseckeringe in Japan kan verhandelen oock watt er bij der hand dient genoemen te weederom den handel meer ende meer te vergrooten. Adresseerde aende E: D: Ertfeste etc... Heeren de Bewinhebberen der vereenichde Nederlandsche Geootroojerde Oost indische Compa. ter vergaderinghe van de Zeventhene. dato 1 maart 1635. (Coll. Sweets, Van Vliet, Speck, ea. Eerste Afdeling. No. 4: f. 90. et seq.)

なお、註十四に引用したカロン日記、一六三六年八月五日の条に、カロンが家老の大膳に呼び出され、藩邸に出仕した際、長村シロスケ、大学殿など立会のもとに平戸侯よりの訓令を伝達された。そのオランダ人に関する条項の抜書中、

「一、本年汝(一、家老、引用者)はオランダ人の生糸を「諸人に」細分して

配賦せしむるべし。

一、彼らの糸価は、長崎奉行より通告さるる糸価の如くたるべし。

一、余は、糸価の決定以前に貨物売り捌きたしとのオランダ人らの度重る嘆願を聞老に伝へたり。今その回答を待ちたれば、それを得次第直ちにこれを汝らに送付すべし。もし回答なき場合に於ては、旧慣に従ふべし。

一、オランダ人は、何時如何なる時にても、彼の心の儘に帰帆せしむべし。但し、日本に渡航するガリオタ船を拿捕せざる旨の請文を長崎奉行に手渡すべし。

一、異国人の日本人を顧備すべからざる事につき、既に仰出さるる所なり、されば、オランダ人等、その旨に背き、必要に過ぎたる多数の日本人を住居内にて使用すべからざる事。

一、陛下(一、將軍家、引用者)の御用に供し得る貨物は其爰にてこれを買取り、何人にも引渡すべからず、仮令、長崎奉行の注文たること明白たりと雖も引渡すべからず。

一、皇帝の五ヶ市(一、五箇所、引用者)に対する生糸の配分を規定したる覚書を同封したれば、平戸にても亦陛下の五箇市同様配分の権利を与へらるること疑ひあるべからず。

(一ヶ条略)

一、皮の類、あらゆる縮緬・紗綾の類をば、一人の者に総てこれを引渡さず、多くの者に(分けて)引取らすべし。

一、一人の者に全部または大半の生糸を渡さず、多くの者に買はせ申すべし。

と見え、寛永十三年鎖国令の結果が、松浦氏を介してオランダ商館に及ぼされていることが知られる。これは、一六三六年度の生糸取引の形態が前年に比し著しく変化しはじめたことの理解に役立つであらう。

50) N. J. 1637.

51) N. J. 1638.

52) ナホット著、富永牧太訳『十七世紀日蘭交渉史』四〇七頁。

53) Remonstrantie aen de Zeventhene, op cit. f. 90.

第一表 1636年度元帳に勘定口座を持つ者（其一）

氏 名	前 期 繰 越 高		次 期 繰 越 高	
	(テール)	(グルデン)	(テール)	(グルデン)
松 浦 肥前守	T. 7138.93}	f.22309: 3: 6:	T. 10000.00	f.28500:—:—:
松 浦 主殿頭	1220.000	3812:10:—:	1220.00	3477:—:—:
松 浦 内 膳	250.000	781: 5:—:	250.00	712:10:—:
リザエモン	249.160	778:12: 8:		
サクエモン	300.000	937:10:—:	300.00	855:—:—:
サクベエ	5620.000	17562:10:—:	300.00	855:—:—:
堺のシンベエ	12347.660	38586: 8:12:	7026.00	20924: 2:—:
内 匠 殿	400.000	1250:—:—:	400.00	1140:—:—:
江戸のヒコエモン	833.000	2603: 2: 8:		
[長村] シロスケ	100.000	312:10:—:	100.00	285:—:—:
松 浦 蔵 人	230.000	718:15:—:	230.00	655:10:—:
マチハチロベエ	8761.710	27380: 6:14:	1671.10	4762:12:12:
堺のトウザエモン	23856.090	74550: 5:10:	40421.04	115199:19: 5:
ヤマザキヤスケイチ	12834.900	40109: 1: 4:		
尾 州 侯	5502.000	17193:15:—:		
ゴザエモン	1493.650	4667:13: 2:	2010.80	5730:15:10:
堀田加賀守正盛	762.500	2382:16: 4:		
将 軍 家	640.000	2000:—:—:		
セキツ、紀州侯御用	6269.500	19592: 3:12:		
牧野内匠頭信成及び 青山大藏卿幸成	De Raets Heeren Taekemondo. & Okradonne	2155.000	6734: 7: 8:	
青山大藏卿幸成	Okradonne, Raets Heer		401.90	1145: 8: 5:
マツバヤチユーエモン	Matsebajia Chieumon	4725.800	14768: 2: 8:	
江戸のキハラシロベエ	Kiarra Chirobidonne in Jedo	4042.000	12631: 5:—:	
京のサカイヤリヘエ	Sackaija Riffidonne in Miaco	12195.260	38110: 3:12:	5428.50
江戸のタチバナタヘエ	Taijtsibanna Taffioije in Jedo	6966.000	21768:15:—:	5951.00
江戸のアガタソーヤ	Angatta Soija in Jedo	6589.700	20592:16: 4:	
京のカナヤスケエモン	Cannaija Scheumondonne		20361.47	58030: 3:13:
堺のジロザエモン	Jeroseijmon in Saccaij		5322.82	15170:—:12:
長崎の宮崎殿	Miasacquidonne in Nangasackij		6947.20	19799:10: 6:
ソーエモン・シチベエ	Soijemondonne & Stibioije donne		39525.10	112646:10:12:
平戸のハリマクロザエモン	Farima Croseijmondo. in Firando		8859.30	25249:—: 2:
サカタソージロウ	Saccatta Soijsiro donne		20756.12	59154:18:13:
堺のアガイクロエモン	Angaija Croijemondo. in Saccaij		3060.75	1145: 8: 5:
カワヤ シンクロウ	Cauwaija Sinckro donne		5653.50	16112: 9: 8:
京のヨニシタロエモン	Conis Tarroijemon in Miaco		56461.50	160915: 5: 8:
堀伊賀・本多染作	Forij Itsnocamij & Fonda Mima-sackadonne		1698.90	4841:17: 5:
京のゴヘエ	Goffioije donne in Miaco		6334.00	18051:18:—:
大垣侯戸田左門氏鉄	Fonda Sammondonne, Hr van Ongackij [sic]		1016.00	2895:12:—:

(註) グルデンとテールの換算率は 1636年 8月28日以前まで T.1=f.3:2:8, 以降は T.1=f.2:17:—: となる。

第二表 1636年度元帳に勘定口座を持つ者（其二）

出 身	氏 名
堺	ジロザエモン Jeroseijmon donne
〃	ゴロベエ Grobbe donne
〃	コニシ シンベエ Connisse Simbe donne
〃	ゴロベエ及びヤソザエモン Grobbedo. & Jassoseijmon donne
大 坂	ゴロベエ、宿主 Grobbedo, Waert in Osacca
〃	フクシマ シンザエモン Focsiman Sinsemon
京 都	オビヤ キエモン Obia Kiemon donne
江 戸	ヨロズヤ サクベエ Jerosija Sackobe donne
長 崎	末 次 平 蔵 Phesodonne, Regent in Nangasackij
平 戸(?)	マキヤ シエモン Mahia Siemon, lacwerker

第三表 取引商人一覧 (1636年度)

出身地	氏名	備考
堺	ジンベエ	
"	トウザエモン	カザリヤ トウザエモン (饒屋藤左衛門) : <Transl. van affgezonden Japansche Missiven> K.A. 1035. O.B. 1638-II, ZZ-2. f. 20. 「糸乱記」
"	カワヤ シンクロウ	
"	サカタ ソージロウ	
"	ジロザエモン	
"	ゴロベエ	オオサカヤ ゴロベエ ? : <Transl. van affgezonden Japansche Missiven>, op. cit.
"	ゴロベエ及びヤソザエモン	ヤソザエモン=阿知子ヤソザエモン。ゴロベエは上記と同一人か。
"	アガヤ クロエモン	阿賀屋九郎右衛門 : 「糸乱記」 「饒奉行所手鑑」 ?
"	コニシ シンベエ	
京 都	カナヤ スケエモン	
"	サカイヤ リヘエ	堺屋利兵衛 : <Japansche Acte> K.A. 1028. O.B. 1636-1. XX-1. f. 288.
"	ソーエモン及びシチビヨエ	
"	コニシ タロエモン	
"	オビヤ キエモン	
"	糸目利 ゴヘエ	
"	マツバヤ スケエモン	
×	サニヤ ソーエモン	ゼニヤカ
×	平 野 藤次郎	
大 坂	ゴロベエ, 宿主	
"	フクシマ シンザエモン	
江 戸	アガタ ソーヤ	阿形→阿形宗珍 (町人考見録) 宗珍<宗弥 ?
"	タチバナ タヘエ	
"	ヨロズヤ サクベエ	
△	キアラ シロベエ	キハラカ
△	ヒコエモン	
紀 伊	セキツ, 紀州侯御用	
×	天野屋藤左衛門	肥後細川家御用商人 : 「細川家史料」 「松原家文書」
長 崎	末 次 平 蔵	長崎代官
"	ミヤザキドノ	元長崎町年寄 : <Memorie van C. Cramer. 23 Feb~13 Maert 1630> Coll. S.V.S. I-No. 5.
平 戸	サクベエ	平野屋作兵衛 : <Japansche Acte>, op. cit.
"	ハリマ クロザエモン	
×	大工 ヤエモン	
"	マキヤ シエモン, 塗物師	
不 明	マチハチロベエ	
"	ヤマザキヤ スケイチ	山崎屋助市郎 : <Japansche Acte>, op. cit.
"	ゴザエモン	

註) ×印は「元帳」に「勘定口座」を持たぬもの。但し、不特定多数と白糸現金買のみの者を除く。
△印は、前期繰越債務の決済以外に当年は取引関係なきもの。

第四表 取引一覧 [4-1~4-35]

[4-1] 堺ジンベエ 1636年 Gimbedonne, Coopman in Saccaij

A 購入・請取現金						
(商品勘定) 品 目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 額 (テール)	日 付	備 考	
白 糸	800斤	T. 267/ビコル	T. 2136	10月 2 日		
ボイル生糸 (色つき)	129 "	T. 370/ビコル	" 477.3	12月 5 日		
〃 (黒)	33 "	T. 280/ビコル	" 92.4	12月10日		
片 撚 糸 (緋)	1 "	T. 520/ビコル	" 5.2	12月30日		
繪 子 (色, 模様つき)	133反	T. 1.7/反	" 226.1	〃		
〃 (広巾・平織)	13 "	T. 8/反	" 104	〃		
〃 (〃)	16 "	T. 4.4/反	" 70.4	〃		
〃 (無地)	20 "	T. 5.6/反	" 112	〃		
紗 綾 (白)	75 "	T. 4.08/反	" 306	〃		
〃 (無地)	26 "	T. 6.5/反	" 169	〃		
〃 (青, 花模様つき)	20 "	T. 3.5/反	" 70	〃		
大 海 黄 (白・無地・色もの)	90 "	T. 6/反	" 540	12月 5 日		
小 金 巾	550 "	T. 1.8/反	" 990	12月30日	parcallen : バルカラ木綿とも云う	
ギネヤ木綿	6 "	T. 5/反	" 30	〃	guinees lijwaet : 稿木綿	

セイラス嶋	11反	T. 3.2/反	T. 35.2	12月30日	chelas
緋 血 紗	15〃	T. 2/反	〃 30	〃	roode zitcleden
カサ・デ・ベンガラ	20〃	T. 0.65/反	〃 13	〃	cassa de bengala. 木綿製品
生カンガン布	779〃	T. 1.8/反	〃 1402.2	10月20日	{cangan<ganga, canga. インド 原産, 木綿の粗布, 絹混紡もあり
羅 背 板 (黒)	2〃	T. 40/反	〃 80	〃	
〃 (色もの)	1〃	T. 45/反	〃 45	〃	
カルサイ (白と黄)	2〃	T. 42/反	〃 84	〃	
土耳其綿服綳 (小幅)	74〃	T. 12/反	〃 888	12月31日	
スタメット (淡紅色?)	810 ¹ / ₂ エレ: 273間(22反)	T. 11/間	〃 6138	〃	
〃 (黒)	843エレ: 285間(23反)	〃			
明 嚮	30495斤	T. 2.85/ピコル	〃 869.1	12月5日	
レガトウーラ	6箇	T. 13/箇	〃 78	10月20日	{legatura: 未詳, 長崎開書 (通航一 覧154所引)に「れいがどうる」とあり
(現金勘定)					
現 金	—	—	T. 7063.5	12月31日	会社の未払金決済。
B 販売・支払現金 (商品勘定)					
日 本 机	294箇	T. 1.6/箇	T. 470.4	11月14日	革製蓋被・銅金具つき
棹 銅	41400斤	T. 13/ピコル	〃 5382	12月18日	
〃	9800〃	T. 12/ピコル	〃 1176	〃	
(現金勘定)					
現 金	—	—	T. 12347.66	2月3日	負債の支払い
〃	—	—	〃 8000	10月2日	負債の支払い

[4-2] 堺トウザエモン 1636年 Toseijmondonne, Coopman in Saccaij

A 購入・請取現金						
(商品勘定)		数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 額 (テール)	日 付	備 考
品 目	(種 類)					
白 糸		800斤	T. 267/ピコル	T. 2136	10月2日	{ * 来期に引渡す銅, 1ピコルにつき 銀100匁の価格にて代金相殺 * 同上の相殺勘定
広南生 糸		5853 "	T. 233/ピコル	" 13637.49	11月14日	
" (イタミ)		438 "	T. 200/ピコル	" 876	"	
東京生 糸		1834 "	T. 200/ピコル	" 3668	"	
綸 子 (統物模様つき)		2700反	T. 9.25/反	" 71178.15	10月19日	
*粗バフタ布 (晒・白)		95 "	T. 2.2/反	" 209	1月23日	
*ライデン産黒呉服綸		50 "	T. 11/反	" 550	1月25日	
金糸入羅紗		17 "	T. 22/反	" 374	11月29日	
台湾産鹿皮 (カベサ)		8025枚	T. 33/100枚	" 2648.25	"	
" (バリゴ)		8240 "	T. 22/100枚	" 1812.8	"	
" (ペー)		2950 "	T. 11/100枚	" 345.5	"	cabessa 上等品 barrigo 中等品 pee 下等品
B 販売・支払現金						
(商品勘定)						
延板銅		15273 "(326枚)	T. 10/ピコル	T. 1527.3	1月28日	○舶来商品と交換に相殺勘定
○ "		46410 "(982枚)	T. 10/ピコル	" 4641	11月17日	○ 同 上
○ "		13390 "(286枚)	T. 10/ピコル	" 1339	12月16日	○ 同 上
(現金勘定)						
現金		—	—	T. 17138.79	1月21日	負債の償還
"		—	—	" 10000	10月2日	商品引渡しの際支払う

[4-3] 堺カワヤシクロー 1636年 Cauwaija Sincrodonne van Saccaij

A 購 入						
(商品勘定)	品 目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 額 (テール)	日 付	備 考
	白 糸	800斤	T. 267/ピコル	T. 2136	10月18日	
	英吉利緞子	5反	T. 40/反	〃 200	〃	
	羅 背 板 (白)	2〃	T. 50/反	〃 100	〃	
	〃	3〃	T. 45/反	〃 135	〃	
	カルサイ (淡紅色)	12〃	T. 42/反	〃 504	〃	

小 羅 紗 (白・黒)	2反	T. 100/反	T. 200	10月18日	
〃 (色もの)	1〃	T. 110/反	〃 110	〃	
大 羅 紗 (白)	23エレ: 8間(1反)	T. 25/間	〃 400	〃	枯葉色……filjmort
〃 (黄)	23エレ: 8間(1反)				
〃 (枯葉色)	20½エレ: 7間(1反)	T. 22/間	〃 154	〃	
〃 (淡色)	23エレ: 8間(1反)	T. 21/間	〃 168	〃	
〃 (橙色)	20エレ: 7間(1反)	T. 20/間	〃 140	〃	
〃 (緋)	22½エレ: 7½間(1反)	T. 25/間	〃 187.5	〃	
ペイ 羅 紗 (各色)	430エレ: 141間(10反)	T. 6/間	〃 846	〃	
カンジャンテン (淡・青)	2反	T. 25/反	〃 50	〃	} canjanten ……未詳
〃 (白)	1〃	T. 30/反	〃 30	〃	
ペロペース	3〃	T. 50/反	〃 150	〃	
レガトウーラ	11箇	T. 13/箇	〃 143	〃	peropees ……未詳 legatura ……未詳

[4-4] 堺サカタソージロウ 1636年 Saccatta Soijserodonne van Saccai

A 購入・請取現金						
(商品勘定) 品 目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 額 (テール)	日 付	備 考	
白 糸	1405斤	T. 267/ビコル	T. 3751.35	10月2日		
白 紗 綾	3191反	T. 4.5/反	〃 14359.5	11月15日		
黒 天 鷲 絨	1496〃	T. 8.7/反	〃 13015.2	11月3日		
紗 (色つき)	643〃	T. 1.3/反	〃 835.9	12月31日		
遅 羅 蘇 木	311676斤	T. 4.7/ビコル	〃 14648.77	11月15日		
B 販売・支払現金						
(商品勘定)						
○延 板 銅	8546斤(174枚)	T. 10/ビコル	T. 854.6	12月16日	{ 〇さきに購入せる欧貨の代金として 相殺	
(現金勘定)						
現 金	—	—	T. 10000	10月2日	商品引渡しの際支払う	
現 金	—	—	〃 15000	12月20日	負債の償還	

[4-5] 堺ジロザエモン 1636年 Jeroseijmondonne, Coopman in Saccai

A 購入・請取現金						
(商品勘定) 品 目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 額 (テール)	日 付	備 考	
白 糸	1000斤	T. 267/ビコル	T. 2670	10月2日	{ 錦織……gebeelde: 模様を浮か せた織方	
緋 縮 緬	1493反	T. 4.35/反	〃 6494.55	11月6日		
大 海 貴 (錦織)	2884〃	T. 3.35/反	〃 9661.4	〃		
〃 (光沢織 ?)	273〃	T. 0.9/反	〃 245.7	12月10日		
西班牙鞆革 (黒)	41箇	T. 2.3/箇	〃 94.3	12月31日		
龍 腦 (?)	4564斤	T. 11/ビコル	〃 502.04	11月6日	coningh, ofte borboria…龍腦か	
*鏡	99箇	T. 3.7/箇	〃 366.3	2月18日	{ * 来期に引渡す延板銅, 1 ビコル充 銀 100 匁の価格にて代金相殺	
B 販売・支払現金						
(商品勘定)						
樹 脂	6193斤	T. 1.8/ビコル	T. 111.47	1月24日	この項, 「仕訳帳」を欠く	
〃	5000〃	T. 2/ビコル	〃 100	10月30日		
(現金勘定)						
現 金	—	—	T. 6000	10月2日	商品引渡しの際支払う	
〃	—	—	〃 8500	12月20日	負債の償還	

〔4-6〕 堺ゴロベエ 1636年 Grobbe donne van Saccaij

A 購入						
(商品勘定) 品 目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 額 (テール)	日 付	備 考	
緋 紗 綾 (マカオ産)	44反	T. 6.05/反	T. 266.2	1月24日		
白 紗 綾	2〃	T. 5.5/反	〃 11	〃		
ライデン呉細服綸	3〃	T. 10/反	〃 30	〃		
B 支払現金 (現金勘定)						
現 金	—	—	T. 307.2	2月3日	負債の返還	

〔4-7〕 堺ゴロベエ及びヤソザエモン 1636年 Grobbedonne & Jassoseijmondonne, Coopluijden van Saccaij

A 購入						
(商品勘定) 品 目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 額 (テール)	日 付	備 考	
白 糸	1600斤	T. 267/ピコル	T. 4272	10月2日		
繻 子 (色・模様つき)	12反	T. 6.2/反	〃 74.4	12月12日		
B 支払現金 (現金勘定)						
現 金	—	—	T. 4346.4	12月31日	上記Aの代金支払い	

〔4-8〕 堺アガヤクロエモン 1636年 Angaija Croijemon in Saccaij

A 購入						
(商品勘定) 品 目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 額 (テール)	日 付	備 考	
緋 縮 緬	1975反	T. 3.85/反	T. 7603.75	11月4日		
天 鷲 絨 (小巾)	207〃	T. 6/反	〃 1242	〃		
広 南 布 (北絹)	443〃	T. 5/反	〃 2215	〃		
B 支払現金 (現金勘定)						
現 金	—	—	T. 8000	10月2日	商品引渡しの際支払う	

〔4-9〕 堺コニシシンベエ 1636年 Connisse Simbedonne, Coopman in Saccaij

A 購入						
(商品勘定) 品 目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 額 (テール)	日 付	備 考	
白 糸	1000斤	T. 267/ピコル	T. 2670	10月2日		
広 南 生 糸 (ふし糸)	789〃	T. 13/ピコル	〃 102.57	11月11日	ふし糸—Sitau.	
片 燃 糸 (黒)	230〃	T. 200/ピコル	〃 460	12月5日		
砂 糖 (シナ産)	82609〃	T. 3.65/ピコル	〃 3015.22	〃	Poeijer suijcker=powder sugar. 普通白砂糖と訳す、シナ産 82609 斤 については褐色との註記あり	
〃 (暹羅)	14436〃	T. 3.4/ピコル	〃 490.82	〃		
〃 (ジャワ)	7933〃	T. 3.2/ピコル	〃 253.85	〃		
重 鉛	1065〃	T. 16.66/ピコル	〃 177.89	〃		
水 銀	5420〃	T. 121/ピコル	〃 6558.2	11月11日		
龍 腦	234〃	T. 4300/ピコル	〃 999.75	〃	borneose campher.	
水 牛 の 角	3700箇	T. 30/100箇	〃 1110	〃	buffels hooren.	
沈 香	356½斤	T. 410/ピコル	〃 1461.56	〃	ager hout.	
乳 香	1445〃	T. 33/ピコル	〃 476.85	12月5日	wierooek.	
B 支払現金 (現金勘定)						
現 金	—	—	T. 10000	12月20日	負債の償還	
〃	—	—	〃 7776.33	12月31日	同 上	

[4-10] 京都 カナヤスケエモン 1636年 Cannaija Scheumon donne in Miaco

A 購入・請取現金					
(商品勘定) 品 目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 額 (テール)	日 付	備 考
白 糸	800斤	T. 267/ピコル	T. 2136	10月 2 日	
白 紗 綾	400反	T. 4.3/反	" 1720	1 月 8 日	
〃	100〃	T. 3.9/反	" 390	〃	
紗 綾	5〃	T. 4.5/反	" 22.5	11月16日	
緋 縮 緬	68〃	T. 4.3/反	" 292.4	11月 8 日	
綸 子	1800〃	T. 2.3/反	" 4140	12月 3 日	
〃	723〃	T. 2.9/反	" 2096.7	〃	
黒天 鷲 絨	35〃	T. 10/反	" 350	1 月 8 日	
天 鷲 絨	2〃	T. 8.7/反	" 17.4	11月16日	
大 海 黄	1〃	T. 3.35/反	" 3.35	12月 3 日	
羅 背 板 (淡色)	1〃	T. 40/反	" 40	11月16日	淡色……taneijt.
広 南 布 (denso)	1〃	T. 8/反	" 8	12月 3 日	絹物, denso……未詳
較 皮	24820枚	T. 1/枚	" 24820	〃	
〃 (各種)	4360〃	T. 0.3/枚	" 1308	〃	アイノモノ及びカツサ, 小々虫喰
〃 (アイノモノ)	11500〃	T. 0.38/枚	" 4370	12月20日	
鞆 革 (赤・シヤム産)	800〃	T. 0.4/枚	" 320	11月16日	
白 砂 糖	200566斤	T. 5.6/ピコル	" 11331.97	12月 3 日	
象 牙	9840〃	T. 56/ピコル	" 5510.4	〃	
阿 仙 薬	354〃	T. 60/ピコル	" 212.4	11月16日	
木 香	965〃	T. 80/ピコル	" 772	〃	
(現金勘定)					
現 金	—	—	T. 525.25	10月30日	会社へ売掛金の請取
B 販売・支払代金					
(商品勘定)					
棹 銅	20200斤	T. 12/ピコル	T. 2424	11月15日	
銭	2700貫文	T. 1/1貫文	" 2700	12月20日	
〃	165貫文	T. 0.9/1貫文	" 148.5	〃	
(現金勘定)					
現 金	—	—	T. 2752.4	2 月 3 日	負債の返済
〃	—	—	" 20000	10月 2 日	買掛金の支払
〃	—	—	" 12000	12月20日	負債の償還

[4-11] 京都 サカイヤリヘエ 1636年 Saccaiia Riffioije donne in Miaco

A 購入・請取現金					
(商品勘定) 品 目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 額 (テール)	日 付	備 考
白 糸	1000斤	T. 267/ピコル	T. 2670	10月2日	* 棹銅ピコル宛銀110匁 (11テール)として、来るモンスーン期までに現物引替えて代金相殺 ▲尚、大羅紗価格、T.5428.5 は割引価格らしい
緋大羅紗	487½エレ: 166間(21反)	T. 27/間	" 4482	11月7日	
"	1536エレ: 526間(66反)	T. 20.5/間	" 10783	12月31日	
*黒大羅紗	809½エレ: 279間(34反)	T. 17/間	" 5428.5▲	"	
*黄大羅紗	502½エレ: 172½間(23反)	T. 18/間		"	
*乳白色大羅紗	126エレ: 43間(6反)	T. 18/間		"	
(現金勘定)					
現 金	—	—	T. 12053.56	2月5日	会社の負債返還
"	—	—	" 12195.26	12月31日	会社の未払金の決済
B 販売・支払現金					
(商品勘定)					
精製棹銅	80000斤	T. 11/ピコル	T. 9200	1月10日	{ Gockie Cooper : broot cooper {(パン形銅)ともいう
"	74200 "	T. 11.5/ピコル	" 8533	2月2日	
"	17900 "	T. 10/ピコル	" 1790	"	
玉 銅 (ゴキ銅)	28643 "	T. 8.5/ピコル	" 2434.65	1月10日	

玉 銅 (ゴキ銅)	44897斤	T. 8.5/ピコル	T. 3816.24	1月10日	但し、現金取引、仕訳帳の記載様式より推定して今、サカイヤリヘエの取引に入れる
"	13332"	T. 7.8/ピコル	" 1039.89	"	
(現金勘定)	26955"	T. 8.5/ピル	" 2291.17	2月2日	
現 金	—	—	T. 5000	8月6日	商品引渡の際支払う
"	—	—	" 10000	10月2日	負債の支払い
"	—	—	" 6000	12月20日	負債の償還

[4-12] 京都 ソーエモン及びシチビョーエ、宿主 1636年 Soijemondonne & Stibioijedonne, waerden in Miaco

A 購入・請取現金						
(商品勘定) 品 目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 (テール) 額	日 付	備 考	
白 糸	2300斤	T. 267/ピコル	T. 6141	10月2日		
シナ黄糸 (ボギー生糸)	11036"	T. 325/ピコル	" 35867	11月23日		
"	6534"	T. 288/ピコル	" 18817.92	"		
"	4232"	T. 249/ピコル	" 10156.8	"		
紗 (白絹地)	2858反	T. 2/反	" 7430.8	12月10日		
"	300"	T. 0.35/反	" 105	12月31日		
大 海 黄	15"	T. 3.35/反	" 50.25	12月10日		
綸 子 (模様ソキ)	44"	T. 6/反	" 264	12月31日		
縞 子 (縞織)	4"	T. 9/反	" 36	"		
広 南 布 (北絹・半巾)	5"	T. 3.3/反	" 16.5	"		
金糸入羅紗	6"	T. 11/反	" 66	"		
金 箔	8000枚	T. 3.8/1000枚	" 30.4	"		
鹿 皮 (シヤム産)	48812"	T. 35/100枚	" 17084.2	11月16日		
"	29188"	T. 19.5/100枚	" 5691.66	"	イタミ } 三級品	
"	17805"	T. 45/100枚	" 8012.25	"	アタマ、即ちカベサ (一級	
"	2195"	T. 30/100枚	" 658.5	"	イタミ } 品) の中	
"	3716"	T. 80/100枚	" 2972.8	"	ヤマンマ即ちカバリヤ・デ	
"	289"	T. 50/100枚	" 144.5	"	イタミ } ・マツタ	
"	950"	T. 15/100枚	" 142.5	"	パリゴ (中級品) のイタミ	
"	525"	T. 15/100枚	" 78.75	"	ペー (下級品)	
鹿皮 (タイワン産) カベサ	26100"	T. 45/100枚	" 11745	11月20日		
" バリゴ	9680"	T. 34/100枚	" 3291.2	"		
" ペー	5300"	T. 14/100枚	" 742	"		
(現金勘定)						
現 金	—	—	T. 1046.71	10月30日		
B 販売・支払現金						
(商品勘定)						
棹 銅	1000斤	T. 12/ピコル	T. 120	9月23日		
"	40000"	T. 12/ピコル	" 4800	11月15日		
"	47378"	T. 13/ピコル	" 6159.14	"		
銭	5250貫文	T. 0.95/一貫文	" 4987.5	12月20日		
(現金勘定)						
現 金	—	—	T. 15000	10月2日	買掛金支払	
"	—	—	" 20000	12月20日	負債の支払	
"	—	—	" 40000	12月31日	負債の支払	

[4-13] 京都コニシタロエモン 1636年 Conis Tarroijemon, Coopman in Miaco

A 購入・請取現金						
(商品勘定) 品 目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 (テール) 額	日 付	備 考	
綸 子 (統き物無地)	7774反	T. 6/反	T. 46644	11月17日		
紗 綾 (白)	2165"	T. 4.5/反	" 9742.5	"		
縞 子 (無地、金バラ付)	6"	T. 8/反	" 48	12月31日		
きがん嶋	45"	T. 0.6/反	" 27	"	Zattijnen, effen met goude roosen : 無地に金糸のバラ刺繍つきの意か きがん嶋……gingan.	

(註) Bは無し。

[4-14] 京都オビヤキエモン 1636年 Obia Kiemon donne, Coopman in Miacó

A 購入・請取現金						
(商品勘定)	品 目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 (テール) 額	日 付	備 考
	東京生糸	18873斤	T. 290/ピコル	T. 54731.7	11月12日	
	ボイル生糸 (白)	1947 "	T. 387/ピコル	" 7544.62	11月25日	
	片 撥 糸	1718 "	T. 276.5/ピコル	" 4750.27	"	
	大 海 黄	46反	T. 3.35/反	" 154.1	"	
	羅 背 板 (紫)	1 "	T. 40/反	" 40	"	
	ヘルサイ (黒)	1 "	T. 30/反	" 30	"	
	ペロベス	1 "	T. 40/反	" 40	"	ペロベス……不詳
	丁 子	12658斤	T. 55/ピコル	" 6961.9	"	丁子……nagel.
	藤	185束	T. 0.3/束	" 55.5	"	藤……rottangh.
	"	710 "	T. 0.2/束	" 142	"	
	鏡 (各種)	4箇	?	" 20	"	
B 販売・支払現金						
(現金勘定)	品 目	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 (テール) 額	日 付	備 考
	現 金	—	—	T. 15000	12月20日	負債の償還
	"	—	—	" 59470	12月31日	同 上

[4-15] 京都ゴヘズ, 白糸目利 1636年 Goffioijedo, Coopman in Miacó, Visitateur van de witte rouwe zijde

A 購入・請取現金						
(商品勘定)	品 目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 (テール) 額	日 付	備 考
	綸 子 (模様ツキ)	640反	T. 8.1/反	T. 5184	12月19日	
	" (")	500 "	T. 2.3/反	" 1150	"	
	× 白 糸	(1000斤)	T. 267/ピコル	(" 2670)	10月3日	{ × 現金買, 但し, ハチロウエモン, キチザエモン, キエモン (糸目利) と共に合せて4000斤購入, 今, 仮 りに四等分して記す

(註) Bナン

[4-16] 京都 マツバヤスケエモン [?] 1636年 Matsebajia Cheumon donne

B 支払現金					
(現金勘定)		金 額	日 付	備 考	
品 目		(テール)			
現 金	T.	4725.8	1月21日	{ 前期繰越負債の支払い, この他に当年取引なし, 但し, 9月30日白糸売 出に, 白糸1200斤を銀32貫40匁で現金買取りせる Matsebajia Chej- emon <マツバヤセエモン>と或は同一人か	

[4-17] 京都サミヤ・ソーエモン [?] <現金取引> 1636年 Samia Soijemon, Coopman in Miacó

A 購 入: 但し現金勘定, 元帳にソーエモンの勘定口座はない						
(商品勘定)	品 目	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 (テール) 額	日 付	備 考
	鮫皮: オミコ	3250枚	T. 15/100枚	T. 487.5	11月15日	現金取引 { Omicos, ofte Slickvellen <よ これ皮>
	" : カツサ	710 "	T. 70/100枚	" 497	"	cassa……cf. 梅花鮫
	" : マサメ	491 "	T. 120/100枚	" 589.2	"	massamij <真鮫>か
	" : コカイランギ	580 "	T. 140/100枚	" 812	"	cocaijrangij.
	" : ナンバングロ	440 "	T. 140/100枚	" 616	"	nambangro. : <南蛮黒>か
	" : カワサミ	290 "	T. 200/100枚	" 580	"	cauwassamij. : <カワサメ>か
	" : ハビロ	320 "	T. 100/100枚	" 320	"	fabro : <羽広>か
	" : インドロサメ	140 "	T. 190/100枚	" 266	"	indrosame.
	" : セカランギ	100 "	T. 250/100枚	" 250	"	secarangij.
	" : マカランギ	85 "	T. 1500/100枚	" 1275	"	macarangij.
	" : トロサメ	60 "	T. 200/100枚	" 120	"	torroseijme. <虎鮫>か
	鮫 皮 合 計	6466枚		T. 5812.7		

[4-18] 京都平野藤次郎<現金取引> 1636年 Firano Toijserodonne, Coopman in Miacó

B 品 目						
(現金勘定)	品 目	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 (テール) 額	日 付	備 考
	銭	5385貫文	T. 0.95/貫文	T. 5115.75	11月28日	{ 現金取引のため, 平野藤次郎の勘定 口座はない

〔4-19〕 大坂ゴロベエ, 宿主 1636年 Grobbedonne, waert in Osacca

A 購 入					
(商品勘定) 品 目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 額 (テール)	日 付	備 考
白 糸	1800斤	T. 267/ピコル	T. 4806	10月2日	rassamala : 未詳
片 燃 糸 (色もの)	117〃	T. 377/ピコル	〃 441.09	〃	
蘇 木 (ビマ島産)	121116〃	T. 2.9/ピコル	〃 3512.36	〃	
黒 檀	20000〃	T. 1/ピコル	〃 200	〃	
ラツサマール	78〃	T. 3.5/斤	〃 273	〃	
B 販売・支払現金					
(商品勘定)					
木 材	600本	T. 0.17/本	T. 102	9月23日	busgies……薪→筒木 ?
杉 板 (寸法各種)	1600枚	—	〃 712	〃	
(現金勘定)					
現 金	—	—	T. 4800	12月20日	負債の償還 同 上
〃	—	—	〃 3618.45	12月31日	

〔4-20〕 大坂フクシマシンザエモン 1636年 Focsima Sinsemon, Coopman in Osacca

A 購 入					
(商品勘定) 品 目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 額 (テール)	日 付	備 考
白 糸	800斤	T. 267/ピコル	T. 2136	10月9日	但現金買い
× "	1000〃	T. 267/ピコル	〃 2670	10月3日	
緋 紗 綾	101反	T. 6.6/反	〃 666.6	12月7日	
広 南 布 (denso)	204〃	T. 6.4/反	〃 1305.6	〃	
〃 (")	100〃	T. 8.8/反	〃 880	〃	
〃 (")	14〃	T. 3.6/反	〃 50.4	〃	
大 蘿 紗 (淡紅色)	69½エレ: 24間(3反)	T. 16/間	〃 384	〃	
〃 (橙色)	42½エレ: 14½間(2反)	T. 14/間	〃 1043	〃	
〃 (緑)	46½エレ: 16間(2反)				
〃 (黄色)	20½エレ: 7間(1反)				
〃 (鉄色)	110½エレ: 37間(5反)				
鏡	1箇	—	〃 4	〃	
B 支払現金					
(現金勘定)					
現 金	—	—	T. 6000	12月20日	負債の償還
〃	—	—	〃 469.6	12月31日	同 上

〔4-21〕 江戸アガタソーヤ 1636年 Angatta Soija, Coopman in Jedo

A 購入・請取現金					
(商品勘定) 品 目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 額 (テール)	日 付	備 考
白 糸	1200斤	T. 267/ピコル	T. 3204	10月2日	} Bafta……天竺木綿ともいう。* 次 期に引渡す銅, 100斤につき銀100匁 の価格で代金相殺
*粗白バフタ (晒)	95反	T. 2.2/反	" 209	1月23日	
(現金勘定)					
現 金	—	—	T. 12774.41	12月31日	会社の負債残額の支払い
B 販売・支払現金					
(商品勘定)					
○延 板 銅	11818斤(254枚)	T. 10/ピコル	T. 1181.8	1月28日	} ○さきに引渡した欧貨の代金相殺に て売渡す
○ "	58180 " (1301枚)	"	" 5818	9月21日	
○ "	13702 "(310枚)	"	" 1370.2	11月17日	
玉 銅 (ゴキ銅)	60500 "	T. 9/ピコル	" 5445	11月15日	{Broot Cooper, ofte Gockies cooper.
"	99579 "	"	" 8962.11	12月23日	

[4-22] 江戸タチバナタヒヨーエ 1636年 Tatsibanna Taffioije, Coopman in Jedo

A 購 入						
(商品勘定) 品 目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 額 (テール)	日 付	備 考	
白 糸	500斤	T. 267/ピコル	T. 1335	10月9日		
白 バフタ (小幅・晒)	1380反	T. 2.3/反	" 3174	11月20日		
カルサイ (黒)	10"	T. 34/反	" 340	10月20日		
〃 (黄)	2"	} T. 42/反	" 126	"		
〃 (白)	1"		"	"		
羅 背 板 (黒)	6"		" 240	"		
〃 (枯葉色)	1"	} T. 45/反	" 135	"		
〃 (緑)	1"		"	"		
〃 (黄)	1"		"	"		
黄大羅紗	45レニ:15間	T. 25/間	" 375	"		
黒大羅紗	23レニ:8間	T. 22/間	" 176	"		
ペロペース	1反	—	" 50	"	peropees……未詳	
B 支払現金						
(現金勘定)						
現 金	—	—	T. 6966	1月21日	負債支払い	

[4-23] 江戸ヨロズヤサクベエ 1636年 Jerosija Sackobe donne van Jedo

A 購 入						
(現金勘定)	品 目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 額 (テール)	日 付	備 考
	白 糸	500斤	T. 267/ピコル	T. 1335	10月9日	
	ベルベトワン (色もの)	6反	T. 35/反	" 210	11月11日	
	ヘルサイ (色もの)	15"	T. 34.5/反	" 517.5	"	
	小 羅 紗 (黒)	2"	T. 100/反	" 200	"	
	" (色もの)	1"	T. 100/反	" 100	"	
	緋大羅紗	24エレ:8間	T. 25/間	" 787.5	"	
	白大羅紗	22½エレ:7½間				
	黄大羅紗	45エレ:16間				
B 支払現金						
(現金勘定)						
	現 金	—	--	T. 3150	12月20日	負債支払

[4-24] 江戸キハラシロベエ 1636年 Kiarra Sirobidonne in Jedo

B 支払現金				
(現金勘定)	品 目	金 額 (テール)	日 付	備 考
	現 金	T. 4042	1月21日	負債の償還

(註) Aなし。

[4-25] 江戸ヒコエモン 1636年 Fickojemondonne van Jedo

B 支払現金				
(現金勘定)	品 目	金 (テール) 額	日 付	備 考
	現 金	T. 833	6月14日	負債の償還

[4-26] セキツ 紀州侯御用商人 1636年 Sekits, Compradoor van de Heer van Cunokunij

A 購 入						
(商品勘定) 品 目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 額 (テール)	日 付	備 考	
白 糸	1000斤	T. 267/ピコル	T. 2670	10月9日		
天 鷲 絨	260反	T. 11.5/反	" 2990	11月19日		
金糸入羅紗	125"	T. 9.06/反	" 1132.5	"		
"	89"	T. 15/反	" 1335	"		
カルサイ (黒)	10"	T. 34/反	" 340	11月3日		
" (緋)	4"	T. 42/反	" 168	"		

カルサイ (白)	4反	} T. 42/反	T. 336	11月3日	
〃 (黄)	4〃				
羅 背 板 (黒)	15〃	T. 40/反	〃 600	〃	
〃 (白)	7〃	T. 49/反	〃 343	〃	
〃 (各色)	15〃	T. 45/反	〃 675	〃	
小 羅 紗 (黒)	4〃	T. 100/反	〃 400	〃	
〃 (濃緑)	1〃	T. 110/反	〃 110	〃	
〃 (白・続物)	½〃		〃 114	12月23日	
大 羅 紗 (緋)	47エレ： 16間 (2反)	T. 27/間	〃 432	11月3日	
〃 (白)	22½エレ： 7½間 (1反)	T. 25/間	〃 187.5	〃	
〃 (鉄色 ?)	92エレ：31間	} T. 12/間	〃 1272	12月23日	
〃 (濃淡色)	161エレ：55間				
〃 (淡淡色)	40½エレ：13½間				
〃 (枯葉色)	20エレ：6½間				
ブ ラ タ	4反	T. 38/反	〃 152	11日3月	
レガトゥーラ	10箇	T. 13/箇	〃 130	〃	
B 支払現金 (現金勘定)					
現 金	—	—	T. 4622.5	1月21日	負債の支払い
〃	—	—	〃 1647	5月25日	同 上
〃	—	—	〃 5000	10月2日	同 上
〃	—	—	〃 8387	12月31日	同 上

[4-27] 肥後侯(細川家)御用商人天野屋藤左衛門 1636年 Amanija Tosemondo, Compradoor van d'Heer van Fingo

現金取引 天野屋の勘定口座は元帳にない					
品 目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 額 (テール)	日 付	備 考
白 糸	300斤	T. 267/ビコル	T. 801	10月7日	{10月7日売出しに現金取引せる47人 のうち
ベルベトワン (色もの)	3反	T. 30/反	" 90	12月27日	
土耳其呉綈服綸 (小巾)	6"	T. 11/反	" 66	"	カンジャンテン……未詳
ライデン呉綈服綸	10"	T. 9/反	" 90	"	
ライデンヘルサイ	5"	T. 16/反	" 80	"	
色小羅紗	4"	T. 80/反	" 320	"	
大 羅 紗 (メニメ)	44エレ:15間	} T. 16/間	" 496	"	
" (赤)	46½エレ:16間				
" (淡色)	23エレ: 8間	} T. 12/間	" 174	"	
" (枯葉色)	20エレ:6½間				
ベイ 羅 紗 (緑)	39エレ:13間	} T. 6/反	" 168	"	
" (黒)	45エレ:15間				
カンジャンテン (続物)	4反	T. 20/反	" 80	"	

[4-28] 長崎代官 末次平蔵 1636年 Phesodonne, Regent in Nangasacqui

A 購 入					
(商品勘定) 品 目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 額 (テール)	日 付	備 考
白 糸	5000斤	T. 267/ビコル	T. 13350	10月 2 日	calambacq. 斤は swarte cattij. 未詳
ブ ラ タ [羅氈] (白)	3反	T. 40/反	〃 120	10月 5 日	
色 羅 背 板	3〃	T. 40/反	〃 120	〃	
カルサイ (黄・白)	3〃	T. 40/反	〃 120	〃	
大 羅 紗	3エレ:1間	T. 20/間	〃 20	〃	
象 牙	32斤	T. 56/ビコル	〃 17.92	12月16日	
紅 木 (カリトゥラ産)	87〃	T. 3/ビコル	〃 2.61	〃	
伽 羅	1.8〃	T. 30/斤	〃 54	〃	
ペロベース	1反	—	〃 40	10月 5 日	
B 支払現金					
(現金勘定)					
現 金	—	—	T. 13844.53	12月31日	負債支払い

[4-29] 長崎ミヤザキドノ 1636年 Miasacquidonne, Coopman in Nangasacq

A 購入						
(商品勘定) 品 目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 額 (テール)	日 付	備 考	
白 糸	800斤	T. 267/ピコル	T. 2136	10月 8 日	{menime … 紅糸を織り 交ぜたもの か？	
羅 背 板 (黒)	2反	T. 40/反	" 80	"		
ライデン産ヘルサイ	2"	{T. 40/反 T. 30/反}	" 70	"		
小 羅 紗 (色もの)	1"	T. 110/反	" 110	"		
" (黒)	2"	} T. 100/反	" 300	"		
" (menime)	1"					
" (枯葉色)	1"	T. 80/反	" 80	"		
大 羅 紗 (黒)	327 $\frac{1}{2}$ エレ: 111間	T. 23/間	" 2553	"		
" (白)	46エレ:15 $\frac{1}{2}$ 間	T. 25/間	" 387.5	"		
" (緋)	48エレ:16間	T. 28/間	" 448	"		
" (緋)	69エレ:24間	T. 27/間	" 648	"	{ 次期モンスーン期に、延板銅, 100 斤につき銀 100 匁の価格で引渡し, 代金相殺 未詳	
" (黄)	23エレ: 8間	} T. 28/間	" 851	"		
" (枯葉色)	42エレ:14間					
" (濃緑)	22エレ:7 $\frac{1}{2}$ 間					
" (淡緑)	22エレ:7 $\frac{1}{2}$ 間					
ベ イ 羅 紗 (各色)	667 $\frac{1}{2}$ エレ: 225間(16反)	T. 6/間	" 1350	"		
* " (黒)	663 $\frac{1}{2}$ エレ: 223 $\frac{1}{2}$ 間(16反)	} T. 5.4/間	" 2783.7	2月20日		
* " (緋)	870 $\frac{1}{2}$ エレ: 292間(20反)					
ベロベース	3反	T. 50/反	" 150	10月 8 日		
B 支払現金 (現金勘定)						
現 金	—	—	T. 5000	10月 2 日	負債 (買掛金) 支払い	

[4-30] 平戸サクベエ(平野屋作兵衛) 1636年 Sackebelijdonne, Coopman in Firando

A 購入・請取現金					
(商品勘定) 品 目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 額 (テール)	日 付	備 考
白 糸 (現金勘定)	800斤	T. 267/ビコル	T. 2136	10月9日	
現 金	—	—	T. 3329.9	12月31日	会社より未決済分の支払い
B 販売・支払現金					
(商品勘定)					
棹 銅	29000斤	T. 12/ビコル	T. 3480	9月23日	東……boeck, 100枚=1 boeck.
木 材	2764本	T. 0.2/本	〃 552.8	10月1日	
杉 板	870枚	T. 0.65/枚	〃 565.5	〃	
鳥 之 子 紙	20束	T. 3/束	〃 60	〃	
〃	20〃	T. 2.8/束	〃 56	〃	
〃	18〃	T. 2.2/束	〃 39.6	〃	
米	200俵	T. 3.56/俵	〃 712	〃	{ 倭……bael, 1bael……54maten= 180斤
(現金勘定)					
現 金	—	—	T. 5320	1月21日	負債の償還

[4-31] 平戸ハリマクロザエモン 1636年 Farima Croseijmondonne, Coopman in Firando

A 購 入						
(商品勘定)	目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 額 (テール)	日 付	備 考
白 糸		1000斤	T. 267/ビコル	T. 2670	11月 9 日	
綸 子 (模襷つき)		400反	T. 8.5/反	〃 3400	11月 8 日	
〃	(ヤヤ巾員小)	200〃	T. 8.3/反	〃 1660	〃	
〃	(サラニ巾員小)	577〃	T. 8.1/反	〃 4673.7	〃	
紗	(白、絹物)	10〃	T. 3/反	〃 30	〃	

紗 (絹物)	31反	T. 2.3/反	T. 71.3	12月31日	
麻 布 (生)	4581〃	T. 1.4/反	〃 6413.4	11月8日	
〃 (白晒)	347〃	T. 1.5/反	〃 520.5	〃	
B 販売・支払現金 (商品勘定)					
精製鉄 (棒形)	42692斤	T. 3.7/ピコル	T. 1579.6	9月28日	
(現金勘定)					
現 金	—	—	T. 9000	12月20日	負債返還

[4-32] 平戸 (?) 塗物師マキヤシエモン 1636年 Mahia Siemon, lackwercker

A 購入・請取現金					
(商品勘定)	目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 (テール) 額	日 付 備 考
品	白 糸	600斤	T. 267/ピコル	T. 1602	10月9日
(現金勘定)					
現 金	—	—	T. 2835.8	12月31日	会社より未決済金の支払い
B 販 売 (商品勘定)					
漆器各種	619箇	—	T. 4437.8	9月26日	

[4-33] 平戸 (?) マチハチロベエ 1636年 Matchie Fatchirobidonne

A 購入・請取現金					
(商品勘定)	目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 (テール) 額	日 付 備 考
品	白 糸	800斤	T. 267/ピコル	T. 2136	10月9日
	羅 背 板 (黒)	2反	T. 45/反	〃 90	1月25日
	ベイ羅紗	172エレ: 56間(4反)	T. 7/間	〃 392	〃
	西班牙鞆革 (黒)	108箇	T. 3.3/箇	〃 356.4	〃
					2反……白, 2反……緋
B 販売・支払現金 (商品勘定)					
〇延板鋼	8751斤(181枚)	T. 10/ピコル	T. 875.1	1月28日	{ 〇鋼100斤を銀100両の割で欲貨の代 金と相殺 〇 同 上
〇 〃	19232斤(394枚)	T. 10/ピコル	〃 1923.2	11月17日	
〇 棹 鋼	6000〃	T. 13/ピコル	〃 780	12月18日	
〃	5000〃	T. 12/ピコル	〃 600	〃	
(現金勘定)					
現 金	—	—	T. 4386.71	1月21日	負債の返済

[4-34] 山崎屋助市郎 1636年 Jammasacqua Scheets donne

A 購 入					
(商品勘定)	目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 (テール) 額	日 付 備 考
品	白 糸	800斤	T. 267/ピコル	T. 2136	10月9日
	皿 紗	247反	T. 3.8/反	〃 938.6	11月10日
	緋 皿 紗	183〃	T. 3.6/反	〃 658.8	〃
	*黒ペルパトワン	10〃	T. 28/反	〃 280	1月24日
	*羅 背 板 (menime)	22〃	T. 23/反	〃 506	〃
	* 〃 (緋)	19〃	T. 18/反	〃 342	〃
	* 〃 (黒)	2〃	T. 45/反	〃 90	〃
	*ベイ羅紗	639エレ: 215間(15反)	T. 7/間	〃 1505	〃
	砂糖 (広南・褐色)	8050斤	T. 3.4/ピコル	〃 273.7	11月10日
	水 砂 糖	102065〃	T. 7.82/ピコル	〃 7981.48	〃
	蠟	2540〃	T. 27/ピコル	〃 685.8	〃
					menime…紅糸を混ぜて織ったもの か * 印 来るモンズン期に、延板鋼100 斤につき銀100両の価格で相殺勘 定で引渡す 内、8反…黒, 5反…白, 2反…緋

B 販売・支払現金 (商品勘定)						
○延板銅	12488斤(271枚)	T. 10/ピコル	T. 1248.8	11月17日	}	○銅100斤につき銀100匁の価格で、 舶来欧貨の代金と相殺
○〃	7006〃(163枚)	〃	〃 700.6	12月16日		
(現金勘定)						
現金	—	—	T. 12834.9	1月21日	負債の返済	
〃	—	—	〃 5000	12月20日	同上	
〃	—	—	〃 8447.98	12月30日	同上	

[4-35] ゴザエモン 1636年 Gosemondonne

A 購 入					
(商品勘定) 品 目 (種 類)	数量 (単位)	単 価 (テール/単位)	金 額 (テール)	日 付	備 考
*黒 羅 背 板	2反	T. 45/反	T. 90	1月25日	* 100斤につき銀100匁の価格にて、 銅と引替えに決済
*ペイ 羅 紗 (白)	89=レ: 29間(1反)	T. 7/間	〃 203	〃	
*西班牙鞆革 (黒)	66枚	T. 3.3/枚	〃 217.8	〃	
B 支 払 現 金					
(現金勘定)					
現 金	—	—	T. 1493.65	1月21日	負債支払い

第五表 1636年価格表 (輸入品・買取価格)

品目	単位	単価
白糸	1ピコル	T. 267.
黄糸 (ボギー)	〃	〃 325, 288, 249.
ポイル生糸	〃	〃 387, 370, 280.
片撚生糸	〃	〃 520, 377, 276.5, 200.
広南生糸	〃	〃 233, 200, 13.
東京生糸	〃	〃 290, 200.
綸子綾	1反	T. 9.25, 8.5~8, 6, 4.4, 3.6, 2.9, 2.3, 1.7.
縮緬	〃	〃 6.6~5.5~4.08, 3.5.
天鷲絨	〃	〃 4.35, 4.3, 3.85.
英吉利綾子	〃	〃 11.5, 10, 8.7, 6.
大海貴子	〃	〃 40
繡子	〃	〃 6, 3.35, 0.9.
ベールベトワシ	〃	〃 9, 8, 6.2.
広南布 (北綱)	〃	〃 35, 30, 28.
〃 (デソソ)	〃	〃 6.6, 5.
ブラタ (羅氈)	〃	〃 8.8, 8, 6.4, 3.6.
小巾	1反	T. 1.8.
ギネヤ木綿	〃	〃 5.
セイラス嶋	〃	〃 3.2.
皿ガン布	〃	〃 3.8, 3.6, 2.
カフタ (天竺木綿)	〃	〃 1.8.
ぎがん嶋	〃	〃 2.3, 2.2.
麻布	1反	〃 0.6.
羅背板	1反	T. 1.5, 1.4.
ヘルサーイ	〃	T. 50, 49, 45, 40, 23, 18.
呉綴服綸	〃	〃 40, 34.5, 30, 16.
スタメッ	〃	〃 42, 40, 34.
金糸羅紗	1間	〃 12, 11, 10, 9.
小糸羅紗	1反	〃 11.
大糸羅紗	1反	〃 22, 15, 11, 9.06.
ベイ羅紗	〃	〃 228, 110, 100, 80.
	1間	〃 28, 27, 25, 23, 22, 21, 20.5, 20, 18, 17, 16, 14, 12.
	〃	〃 7, 6, 5.4.

カンジャンテン ベロベース	1 反 "	T. 30, 25, 20. " 50, 40.
鹿 蛟 鞆	皮 100 枚 皮 " 革 1 枚	T. 80, 50, 45, 35~33, 30, 22, 19.5, 15, 14, 11. " 1500, 250, 200, 190, 140, 120, 100, 70, 38, 30, 15. " 3.3, 2.3, 0.4.
蘇	木 1 ビコル	T. 4.7, 2.9.
砂 氷	糖 (粉) 1 ビコル 砂 糖 "	T. 5.6, 3.65, 3.4, 3.2. " 7.82.
象 水 牛 の 龍 沈 伽 丁 亜 仙 黒	牙 1 ビコル 角 100 箇 脳 1 ビコル 香 " 羅 " 子 " 薬 " 檀 "	T. 56. " 30. " 4300. " 410. " 3000. " 11. " 60. " 1.
亜 水	鉛 1 ビコル 銀 "	T. 16.66. " 121.

第六表 オランダ商館販売白糸購入者一覧 (1624~1635)

a) 1624年8月~1626年2月						
買 取 人 氏 名	出身地	取引年月日	取 引 高 (斤) (テール)		備 考	
トウザエモン	Thoseijmon donne	堺	1624- 9-30	100 T. 280	{上記の Sieroseijmon と同一人物 大坂の宿主クロベエの 義弟	
			1625-10-29	1028 " 3053.16		
ジンベエ	Gimbe donne	堺	1625-10-28	2062 " 6094.44		
			1625-11- 5	13 " 39		
			1626- 2-10	122 " 164.7		
{リヒヨエ スケサブロ	Riffioije donne & Scheesabro donne	京 都	1625-11- 4	9780.5 " 29341.5		
{サクエモン ショオザエモン	Sacquemon donne & Schioseijmon	京 都	1625-10-29	5406 " 15974.4		
			1625-11- 5	26 " 78		
			1624-10-10	122 " 341.6		
サクベエ	Sackobij donne	[平戸]	1625- 4- 3	58 " 162.4		
			1626- 1-21	309 " 927		
{スケサブロ ジュヒョーエ	Scheesabro donne & Juffioije donne	京都?	1624-10- 6	205 " 574		
{シロザエモン ソービョーエ	Sieroseijmon donne & Sobioij donne	江 戸	1624- 9-30	600 " 1680		
シロザエモン	Sieroseijmon donne	江 戸	1625-12- 1	1009 " 3027		
ジロベエ	Gerobbe donne	大 坂	1624-10- 2	200 " 560		
ジュエモン	Juemon donne	平 戸	1625-10-16	3082 " 9246		
サンゾー	Sanso donne	平 戸	1625-11-30	101 " 303		
{シンクロー又はバスタア ン	Schingro donne alias Bastiaen	平 戸	1625-12- 1	302 " 906		
			1626- 2-10	333 " 900.6		
松浦肥前守	Figsasama	平 戸	1625-11-25	5000 " 14700		
<現金勘定内訳>						
①カワヤ ジュエモン	Cawaija Juemon donne	堺	1624- 9-14	1086 T. 1629	N.J. は T.664.5 と記載 {買取人不詳, 内 11.5 斤は贈与品に	
②カクザエモン	Kackuseijmon donne	江 戸	1624-10-16	100 " 200		
③ジロベエ	Gerobe donne	[大坂]	1625-12-19	221 [" 663]		
④諸 口			1625- 5-31	54 " 137.4		
b) 1626年~1628年4月						
トウザエモン	Thoseijmon donne	堺	1626- 8- 7	5160.5 T.17029.65	{他にジンベエ・スケエ モンなど合弁	
カワヤ ジュエモン	Cauwaija Jeumon donne	"	1626- 8-18	24021.5 " 79330.6		
			1627- 8-18	15906.0 " 47203		
ゼニヤ ヒコザエモン	Senia Ficosemon	"	1627- 8-20	550 " 1650		
ゼニヤ サクエモン	Senia Sacqemon	"	1627- 8-17	18318 " 54320.15		
クスマドーデイン(ママ)	Cusma Dodijn	"	1627- 8-20	2121 " 6363		
ジンベエ	Gimbe donne	"	1626-10-25	1008 " 3427.2		
			1627-11-24	4030 " 11284		
ジンベエ及びリヒョーエ	Gimbe & Riffioije donne	堺・京都	1627- 8-20	3104 " 9312		

リヒョーエ及び スケサブロ	Riffioje donne & Schesabro donne	京 都	1627-11-24 1628- 3-18	3380 613	T. 9489.2 " 1716.4	
スケサブロ	Schesabro donne	"	1626- 8- 9	708	" 2336.4	
マゴベエ	Mangabe donne	"	1628- 3- 3	681	" 1804.65	
スندگان ジロベエ	Sundanna Gerobbe donne	"	1627- 8-19	6686	" 19723.7	スندگان、或はツダの誤記か
ソーエモン、カクザエモン 手代	Sojeumon donne ofte volck van Kackusijmon	[江戸]	1627- 8-23 11-23	1016 1006	" 3048 " 2816.8	
ゴロベエ	Croobi donne	大 坂	1627- 8-19 11-23	1015 1003	" 2994.25 " 2808.4	大坂の宿主、或はクロベエか
サクベエ	Saccobij donne	平 戸	1627-11-23	1530	" 4284	
シンレイドノ (?)	Schinre donne	[?]	1627- 6-10 8-19 8-23 11-27 1628- 3-25	531.5 14236.5 1111.0 4471 275	" 1468.7 " 42201.02 " 2729.45 " 11904.35 " 357.5	シンレイの訓み後考に俟つ
ゴロサク	Grosack	長 崎	1627- 8-22	?	?	帳簿に数量記載なし、グルデン評価のみあり、f. 5156-5-0. 長崎の蘭人定宿主人
ヤヒョーエ	Jaffioij donne	平 戸	1628- 3-13	200	T. 530	
シンクロー又は バスタアン	Schingrodonne alias Bastiaen	"	1626- 8-10 9-14	561 446	" 1851.3 " 1159.8	
シチウエモン (?)	Sustjeumondonne	"	1627- 8-19	4066	" 11994.7	
松浦肥前守	Fijgensamma	"	1626- 8-26	100	" 330	
<現金勘定内訳>						
①諸 口			1627- 8-23	1167	T. 3370.65	買手不詳
②ヒコサブロ	Ficosabro donne	平 戸	1627-11-22	65.5	" 163.75	
③ヒルマ ジロベエ (?)	Firma Gerobe donne	"	1627-11-27	1004	" 2811.4	
④マゴベエ	Mangabeijdonne	京 都	1628- 2-27	1130	" 2994.5	
⑤諸 口			1628- 3-24	4.5	" 11.7	
c) 1628年~1633年						
カワヤ ジュエモン	Cauwa Juemondonne	堺	1630- 8- 6	156	T. 280.8	ペルシヤ生糸
ジンベエ	Gimbe donne	"	1630- 7-16	1000	" 3650	
スケエモン	Schemon donne	平 戸	1631- 4-15	14	" 51.1	
平戸市民6名	Burgerij van Firando	"	1631- 5-27	617	" 2653.1	ヒラノサクベエ・コバヤンヤヒョーエ・タニガワリエモン・モリサンエモン・コメヤヒコエモン・コンドーイチザエモン：平戸町の市民代表とあり
<現金勘定内訳>						
①諸 口			1630- 6-29	10500	T. 38325	平戸侯の命により都・大坂・堺・博多・長崎の諸商人に現金売りにて売却とあり
②諸 口		平 戸	1630- 6-30	5000	" 18250	平戸侯の命により平戸の全市民に現金売りで売却す、とあり
③トウザエモン	Thosemon donne	堺	1630- 7- 8	133	" 485.45	
リヒョーエ	Riffioij donne	"	"	1000	" 3650	
シチビョーエ	Stibioija donne	京 都	"	500	" 1825	
ゴロサク	Grossacq	長 崎	"	500	" 1825	宿主
通辞リエモン	Lemon, tolck	平 戸	"	500	" 1825	
ヤヒョーエ	Jaffioijdonne	"	"	300	" 1095	
老ジュエモン	Oude Juemondonne	"	"	500	" 1825	
スケエモン	Schemon donne	"	"	500	" 1825	
ヒコサブロ	Ficosabro	"	"	500	" 1825	
サクベエ	Sacobeij donne	"	"	600	" 2190	
ソシミー某	Sosimio Terroemon	"	"	200	" 730	
カギヤ シンザエモン	Cangia Sinsemon donne	"	"	200	" 730	
④カワヤ ジュエモン	Cauwa Juemon donne	堺	1630- 7-18	2600	" 9490	
⑤チヨスケ	Thiosque donne	京 都	1630- 7-27	500	" 1825	
⑥諸 口		江 戸	1633- 1-12	148	" 504.9	江戸で現金にて売る
d) 1633年~1635年						
トウザエモン	Thosemon donne	堺	1634-10-16	6005	T. 15413	
ジンベエ	Gimbe donne	"	1634-10-28	2106	" 5054.4	
ゴロベエ	Grobe donne	"	1634-10-25 1634-12-20	3000 579	" 7600 " 1129.05	広南生糸
カナヤ スケウエモン	Canaija Scheumon donne	京 都	1634-10-25 12- 1	7578 64	" 19302.8 " 166.4	

ゴロベエ	Grobe donne	大坂	1634-11-1	818	T. 2126.8	{ 若くはクロベエ、大坂 の宿主 長崎の元町年寄
ミヤザキ殿	Miasacqui donne	長崎	1634-10-18	2002	" 4804.8	
サクベエ	Sackobeij donne	平戸	1634-10-16	2737	" 6735.5	{ 下関の宿主
シチザエモン	Stisemon donne	下ノ関	1634-10-28	1542	" 3491.4	
塗物師マキヤ シエモン	Mahia Siemon Lackwerker	平戸?	1634-10-18	750	" 1750	{ 京都の宿主
ソーエモン・シチビョーエ	Soijemon & Stibioje donne	京都	1634-10-25	9283	" 23737.6	
{ シオヤソーザブロー及び ヤマザキヤスケイチ	Siwoja Sosabro & Jammassaquia Scheets donne	[大坂?]	1634-10-28	5929	" 15112	{ 大膳殿、日本の国事顧問官 大炊殿の義父
マチハチロベエ	Matchie fatchirobi donne		1634-11-1	1036	" 2693.6	
大膳殿及び平戸侯	{ Deijsendonne & Heer van Firando	平戸	1634-10-9	5857	" 10000	{ 大膳殿、日本の国事顧問官 大炊殿の義父
ヤザエモンドノ	Jaseijmon donne		1634-10-16	3000	" 7200	
<現金勘定内訳>						
①諸口			1634-1-10	804	T. 2361.22	{ 買得人不詳、カロン江戸 上府の折り現金売り 大坂の宿主
②ゴロベエ	Grobe donne	大坂	1634-1-23	270	" 729	
③諸口			1634-5-5	10	" 30	{ カロン参府中江戸にて 小口現金売り 同上
④諸口			"	215	" 580.5	
⑤平戸六ヶ町の町人へ	{ Burgerij van de ses streaten van Firando	平戸	1634-10-16	6082	" 14596.8	{ 平戸侯御用商人 長崎の宿主
⑥リザエモン	Riseijmon donne	"	1634-10-20	1000	" 2400	
ゴロサク	Grossacq	長崎	"	1000	" 2400	{ 平戸町年寄 番匠 鍛冶サンザエモンか
シチロエモン(?)	Streumon	"	"	600	" 1440	
サブロザエモン(?)	Sabbreseimon	平戸	"	200	" 480	{ 長崎駐在員、W. フェル ステーヘンの宿主 買得人不明
ヤエモン	Jaeijmon	"	"	300	" 720	
カンザエモン(?)	Cansemon	"	"	300	" 720	{ 長崎駐在員、W. フェル ステーヘンの宿主 買得人不明
内匠殿、筆頭家老	{ Takimadonne, eerste Regent	"	"	750	" 1800	
蔵人殿、次席家老	{ Crosendonne, tweede Regent	"	"	500	" 1200	{ 長崎駐在員、W. フェル ステーヘンの宿主 買得人不明
大学殿、三番家老	{ Daeckendonne, derde Regent	"	"	500	" 1200	
ドーイ	{ Doije, Huijswaert van W. Verstegen	長崎	"	558	" 1339.2	{ 長崎駐在員、W. フェル ステーヘンの宿主 買得人不明
⑦現金売			1634-11-1	308	" 400.4	
e) 1635年						
トウザエモン	Toseijmon donne	堺	1635-9-30	5000	T. 14300	1ピコル=T286
ジンベエ	Gimbe donne	"	"	5000	" 13300	1ピコル=T266
カワヤ シンクロー	Cauwaija Sincro donne	"	"	5500	" 14630	"
{ ゴロベエ及び ヤソザエモン	Grobbe donne & Jassasemon donne	"	"	6000	" 16760	{ 但し、シナ産黄糸
シロザエモン	Siroseijmon donne	"	10-31	1000	" 2660	
ザカイヤ リヘエ	Sackaija Riffi donne	京都	{ 11-3 11-6	{ 5056 4000	{ " 17150.5 " 10640	{ 但し、シナ産黄糸
カナヤ リヘエ	Canaya Riffioije donne	"	9-30	3000	" 7980	
クロエモン	Croijemon	"	10-30	2000	" 5320	{ 大坂宿主 堺か
カナヤ スケエモン	Cannaija Chieumon donne	京都	{ 11-3 11-6	{ 450 4850	{ " 1372.5 " 12901	
ゴロベエ	Grobbe donne	大坂	9-30	3012	" 8411.92	{ 大坂宿主 堺か
コニ[シ] シンペイ	Conne Simbe donne	"	10-1	1559	" 4146.94	
{ シオヤ ソーザブロー及び ヤマザキヤスケイチ	Siwoja Sosabro & Jammassaquia Scheets donne	大坂?	11-6	3000	" 7980	{ 但し虫喰
キハラ シロベエ	Kiarra Sirobi donne	江戸	10-29	2000	" 5320	
タチバナ タヒョーエ	Taijtsiebanna Taffioije	"	11-4	1672	" 4180	{ 大坂宿主 堺か
アガタ ソーヤ	Angatta Soja	"	11-6	800	" 2128	
末次平蔵	Pheso donne	長崎	10-8	3000	" 7980	{ 紀州侯御用商人 1634-10-18、750斤の 取引の残分
ミアザキドノ	Miasacque donne	"	10-1	2058	" 5474.28	
サクベエ	Sackebeij donne	平戸	11-6	2000	" 5320	{ 京の宿主
セキツ	Sekits	"	10-25	1500	" 3990	
塗師マキヤ シエモン	Mahia Siemon	平戸?	{ 8-16 11-6	{ 500 800	{ " 200 " 2128	{ 京の宿主
マチハチロベエ	Matchiefatierobi donne	平戸?	9-30	3000	" 7980	
{ ソーエモン及び シチビョーエ	Soijemondo. & Stibioje donne	京都	{ 9-30 11-6	{ 4145 2500	{ " 11025.7 " 6650	{ 京の宿主
ゴザエモン	Gosemon donne	"	9-30	1000	" 2660	
サカタ ソージロー	Sacatta Soijero donne	堺	10-1	1507	" 4008.62	{ 京の宿主
マツバヤ(チ)シウエモン	Matsebajia Chieumon	京都	10-28	1500	" 3990	
松浦肥前守	Figiensamma	平戸	11-30	3	" 7.98	

<現金勘定内訳>						
①						
平戸六ヶ町の市民	Burgers, 6 straete van Firando	平戸	1635-9-30	6046	T. 16082.36	
ゴロサク	Grossack	長崎	"	1123	" 2987.18	長崎宿主
リザエモン	Rijseijmon donne	平戸	"	1000	" 2660	平戸侯御用商人
ハリマ〔ヤ〕クロザエモン	Farima Crosemon	"	"	1000	" 2660	
ヘインツ〔?〕	Geijnts	"	"	800	" 2128	平戸侯の紹介
マタエモン	Mattemon donne	"	"	200	" 532	平戸侯船頭
{サントフォールト及び ピセンテモメイン	M. van Santvoort & Vincent Romeijn	長崎	"	1200	" 3192	
平戸商人六名		平戸	"	2000	" 5320	{ジユヘエ(Juffi), [小林]ヤヘエ(Jaffi), シンエモン(Sinnemon), スケエモン(Schemon), サンザブロ(Sansabro), シンザエモン(Sinsemon)
イトウ サンザエモン	Ito Sansemon	京都	"	302	" 803.32	平戸侯蔵屋敷
{ニコラス=シチザエモン, ヤザエモン, シンベエ, リフイヨエ, キウザエモン	Nicolaes Stisemon, Iasemon, Simbe, Riffij, Kiouseijmon	平戸	"	2006	" 5335.96	平戸市民
②						
河内諸町人	Burgerije van Couthie	平戸	1635-10-31	1000	T. 2660	
マゴエモン	Mangoiijemon	江戸	"	3000	" 7980	
ソーリ	Sorij	京都	"	600	" 1596	
カンベエ	Cambe	"	"	1500	" 3990	
シチザエモン	Stiseijmon	下ノ関	"	1000	" 2660	宿主
{ヤソベエ, シロベエ, モエモン	Jassobe, Sirobe & Moijemon	平戸	"	600	" 1596	平戸市民
ドーイ	Doij donne	京都	"	700	" 1862	
大工ヤエモン	Mr Timmerman Jaemon	平戸	"	300	" 798	
鍛冶サンザエモン	Groffsmith Sanseijmon	"	"	200	" 532	
リエモン, スケエモン	Liemon, Schemon	"	"	500	" 1330	平戸市民
ヤザエモン	Iaseijmon	"	"	3000	" 7980	大炊殿の義父
{チョーザブロ, チョーク ロー及びソーシロー	T'siosabro, T'siokro & Sogiro	堺	"	4750	" 12635	堺商人
③						
{サクエモン, ショーザエ モン, ヒコエモン及びシ ロベエ	Sacquiemon, Chioseijmon, Ficoijemon & Sirobe	長崎	1635-11-6	2400	T. 6384	長崎町年寄
{タザエモン, マタイチ 及びマゴザエモン	Taseijmon, Matoijs & Mangaseijmon	"	"	2000	" 5320	糸目利
ゴンベイ	Gompe	長崎	"	500	" 1330	
シロキチ	Sirokits	江戸?	"	500	" 1330	{江戸町奉行加加爪 民部少輔の紹介
トウザエモン	Toseijmon	肥後	"	500	" 1330	{肥後の領主(細川家) の御用商人天野屋
ハクザエモン	Hackuseijmon	"	"	400	" 1064	大炊殿の紹介
内匠殿	Taeckemon donne	平戸	"	500	" 1330	平戸侯の前奉行
蔵人殿	Crosendonne [sic]	"	"	500	" 1330	平戸侯の叔父
大学殿	Deijckedonne	"	"	500	" 1330	平戸侯の奉行
ハイウエモンドノ(?)	Faiuemondonne	"	"	500	" 1330	"
シチロエモン	Stroijemondonne	"	"	500	" 1330	平戸侯勘定方
{イヘエ, ドーヤ, イザエ モン, ソーイツ, クロス ケ, ヤタイウ, クロエ モン	Jffij, Doija, Iseijmon, Soijs, Croske, Jataijo & Croijemon	長崎	"	1400	" 3724	
{リンスケ, ヒコザエモン, セイシツ	Rinsinck, Ficoseijmon & Seijnst	平戸	"	500	" 1330	
サブロザエモン	Sabroseijmon	"	"	300	" 798	平戸町年寄
ジューイチロー	Jeutsiro	江戸	"	300	" 798	酒井雅楽頭の紹介
④						
諸口		—	1635-12-10	413	T. 639.22	諸商人へ
⑤						
松浦肥前守	Figiensamma	平戸	1635-12-11	7800	T. 20748	
タカネ ソーエモン	Takanne Soijemon	大坂	"	500	" 1330	平戸侯, 大坂蔵宿
平戸商人 11 人		平戸	"	2059	" 5476.94	平戸侯の紹介

第七表 [7-1~7-14] 1636年度オランダ商館販売白糸購入者一覧

7-1 1636年10月2日 売渡分(生糸勘定) 引渡白糸総額18705斤, 銀499貫423匁5分 (f. 142335:19:15:)					
斤数	金額 (テール)	氏名	出身地	備考	
5000斤	T. 13350	長崎代官末次平藏	{Phesodonne, Regent van Nangasackij}	長崎	Waerden in Miaco.
2300 "	" 6141	{ソーエモン及びシチビョーエ, 京の宿主}	Soijemon & Stiboije	京都	
1800 "	" 4806	ゴロベエ, 大坂の宿主	Grobbedonne, Waert in Osacca	大坂	
1405 "	" 3751.35	サカタ ソーシロウ	Sacatta Sojsiro	堺	
1200 "	" 3204	アガタ ソーヤ	Angatta Soija	江戸	
1000 "	" 2670	コニシ シンベエ	Connisse Simbe	堺	
" "	" "	ジロザエモン	Jeroseijmon	"	
" "	" "	サカイヤ リヘエ	Saccaija Riffi	京都	
800 "	" 2136	トウザエモン	Toseijmon	堺	
" "	" "	カナヤ スケエモン	Cannaija s'Cheumon	京都	
" "	" "	ジンベエ	Gimbe	堺	
1600 "	" 4272	ゴロベエ及びヤンザエモン	Grobe & Jasoseijmon	"	

7-2 1636年10月9日 売渡分(生糸勘定) 引渡白糸総額6800斤, 銀181貫560匁 (f. 51744:12:-:)					
斤数	金額 (テール)	氏名	出身地	備考	
1000斤	T. 2670	セキツ, 紀州侯御用商人	{Seckits, Compradoor van d'Hr. van Cunokunij}	平戸	Farima 恐らく Firando の誤記 原本作マヒヤ, 今改マキヤ
" "	" "	ハリマ[ヤ] クロザエモン	Cröseijmon	"	
800 "	" 2136	マチヤ ハチロエモン	Matsia Fatchireumon	"	
" "	" "	ヤマザキヤ スケイチ	Jammasacquia Scheets	"	
" "	" "	フクシマ シンザエモン	Focksima Sinseijmon	大坂	
" "	" "	サクベエ	Sackobeij donne in Farima [sic]	播磨[マ]	
600 "	" 1602	マキヤ シエモン, 塗師	Mahia Chiemon, Lackwercker	"	
500 "	" 1335	タチバナ タヒョーエ	Tasibana Taffioije [sic]	江戸	
" "	" "	ヨロズヤ サクベエ	Jerosia Sackobe [sic]	江戸	
" "	" "				

7-3 1636年10月2日, 8日, 18日, 11月28日 販売分(生糸勘定)					
売渡日	数量	金額 (テール)	氏名	出身地	備考
10月2日	50斤	T. 133.5	青山大蔵卿幸成	Okrado. Raets Heer	江戸
10月8日	800 "	" 2136	ミヤザキドノ	Miasacquidonne	長崎
10月18日	" "	" "	カワヤ シンクロウ	Cauwaija Sinckrodonne	堺
11月28日	150 "	" 400.5	松浦肥前守	Figiensamma	平戸

7-4 1636年9月29日 売渡分(現金勘定) 引渡白糸総額11150斤, 銀297貫705匁 (f. 84845:18:8:)					
斤数	金額 (テール)	氏名	出身地	備考	
1500斤	T. 4005	ダイモンシヤ チョービョーエ	Daijmonsia t'Siobioij	京都	酒井讃岐守忠勝侍医
" "	" "	医師ソータク	Sotack, docktor	江戸	
" "	" "	クロカワ シロベエ	Krocauwa Sirobe	"	
" "	" "	ヤザエモン	Jaseijmon	京都	
1300 "	" 3471	ツンダナ[ツダカ] カンベエ	t'Sundana Cambe	"	
" "	" "	オーサカ[ヤ] チョーザエモン	Osacka t'Sioseijmon	大坂	
" "	" "	クケヤ チョーエモン	Koukeja t'Sioijemon	堺	
1250 "	" 3337.5	タチバナ ゴロベエ	Taijtsibanna Grobbe	大坂	
" "	" "				
" "	" "				

7-5 1636年9月30日 売渡分(現金勘定) 引渡白糸総額12450斤, 銀332貫415匁 (f. 94738:5:8:)					
斤数	金額 (テール)	氏名	出身地	備考	
1250斤	T. 3337.5	カワヤ ショークロオ	Cauwaija Chicro	堺	Matchebaija Cheumon と同一人か
1200 "	" 3204	マツバヤ セーエモン?	Matsebaija Chejemon	京都	
1000 "	" 2670	アワヤ トウザエモン	Auwaija Toseijmon	"	

1000 "	T. 2670	チャヤナ[?] チウエモン	t'Sajana t'Sieumon	江戸	
"	"	ヒラマ シンキチ	Firama Sinkits	堺	
"	"	ノニヤ[ヌノヤ?] シロベエ	Nonnia Sirobe	京都	
"	"	カナヤ リヘエ	Cannaija Riffi	伏見	
"	"	ミナト ロクベエ	Minato Rockbe	江戸	
"	"	ツリヤ[?] セイベエ	t'Surria Sebe	京都	
"	"	シチザエモン, 下ノ関の宿主	{ Stiseijmon, Waert in Simonoseckij	下ノ関	
"	"	ハカタ[ヤ] キンシロウ	Facatta Kinsiro	長崎	
"	"	タカマ シウエモン	Tackama Chieumon	堺	

7-6 1636年10月3日 売渡分(現金勘定) 引渡白糸総額 12300 斤, 銀 328 貫 410 匁 (f. 93596 : 17 : - :)					
斤 数	金 額 (テール)	氏 名	出身地	備 考	
4000斤	T. 10680	{ ゴヘエ・ハチロウエモン・キ チザエモン・キエモン, 糸目 利	Goffe, Faitsireumon, Kitsiseij- mon & Kiemon, Cooplduiden & Visitateurs van de zijde		
1000 "	" 2670	フクシマ シンザエモン	Fouckissima Sinseijmon	大坂	
" "	" "	カイヒヤ[?] ショーエモン	Kaijfia Sioijemon	堺	
" "	" "	ニシムラ カンザエモン	Nissimoura Kanseijmon	京都	
" "	" "	ヒラノヤ シンエモン	Firania Sinniemon	堺	
" "	" "	マタザエモン	Mattaseijmon	江戸	
" "	" "	タロエモン	Torroijemon	京都	
" "	" "	イシミヤ[?] マタエモン	Jissimmia Matteijmon	江戸	
" "	" "	マラヤ[?] シンエモン	Marraiia Sinnemon	堺	
300 "	" 801	サニヤ[ゼニヤ?] サブロエモン	Sannia Sabrojemon	京都	

7-7 1636年10月4日 売渡分(現金勘定) 引渡白糸総額 11500 斤, 銀 307 貫 ,050 匁 (f. 87509 : 5 : - :)					
斤 数	金 額 (テール)	氏 名	出身地	備 考	
800斤	T. 2136	{ ジッソーイン [又はジショウ イン] 長老	Gissoin Paep in Jedo	江 戸	
"	"	イチザエモン	Jtsiseijmon	京 都	
"	"	タカヤ ヘイエモン	Tackaija Fejemon	"	
700 "	" 1869	マツ リンザエモン	Matsou Rinseijmon	江 戸	
"	"	オーツキ シロキチ	Otsukij Sirokits	"	
"	"	タカワラ トーエモン	Tackawarra Toijemon	京 都	
"	"	ソーリ	Sorij, Geschooren in Miaco	"	
"	"	ゴロベエ, 長崎の宿主	Grobbe, Waert in Nangasacq	長 崎	
"	"	アゴヤ センシロウ	Angoija Sensiro	京 都	
"	"	トージロウ	Toijsiro donne	"	
"	"	シワイヤ シロベエ	Siwaija Sirobe	大 坂	
500 "	" 1335	アワヤ ニヘエ	Auwaja Niffe	京 都	
"	"	シナ人五官	Gocquan Chinees in Jedo	江 戸	
"	"	イタミヤ サクベエ	Jtamia Sackbe	京 都	
"	"	ハヤシ シロエモン	Fajas Siroijemon	江 戸	
"	"	医師ドーコク	Dockock, doctor in Jedo	"	
"	"	ソスミヤ[ママ] タロエモン	Sosumia Tarroijemon	堺	
"	"	スミノクラ ソーハ	Suminockra Sofa	京 都	

7-8 1636年10月5日 売渡分(現金勘定) 引渡白糸総額 14200 斤, 銀 379 貫 140 匁 (f. 108054 : 18 : 一 :)					
斤 数	金 額 (テール)	氏 名	出身地	備 考	
2000斤	T. 5340	{ サクエモン, ソーザエモン, シロベエ, ショザエモン [マ マ], 長崎町年寄	Sacquejemon, Sioseijmon, Siro- be & Sickoseijmon, Burgemees- ters van Nangasacq	長 崎	
1000 "	" 2670	チャワンヤ ドーイ	t'Siawanja Doije	京 都	
800 "	" 2136	ナンバヤ クロザエモン	Nambaija Croseijmon	"	
1000 "	" 2670	{ メルシオール=ファン=サン トフォールト及びヴィンセン ト=ロメイ	Melchior van Santvoort & Vincent Romeijn	長 崎	
500 "	" 1335	ネイノ シエモン [ママ]	Neijnno Chiemon	"	

500 "	T. 1335	ハルガナヤ[ママ] シロベエ	Harmgannaja Sirobe	堺
"	"	イトヤ ジュシチロウ	Itoja Justiro	江 戸
"	"	ミシマヤ ジュートク	Missimaja Jutock	"
"	"	オイノガワ ヒコビヨエ	Oienongauwa Ficobioije	長 崎
"	"	ヒビヤ マタイチ	Fibia Mataijts	堺
"	"	シウミヤ[ママ] トウザエモン	Siumia Toseijmon	"
"	"	スシグチ スンベエ [ママ]	Sussinguts Sumbe	"
"	"	フクトク ビョエ	Fouctock Bioije	江 戸
"	"	タチバナ キチベエ	Taijtsibanna Kitsibe	大 坂
"	"	センバヤ ショエモン	Sembaija Chioijemon	京 都
"	"	ミシヤ マゴベエ	Missia Mangobe	堺
"	"	オタノ シロベエ	Otano Sirobe	江 戸
"	"	ダイモンシヤ チョエモン	Daijmonsia t'Sioijemon	京 都
400 "	" 1008	シバタ ヒヘエ [ママ]	Chibatta Fiffe	長 崎
"	"	トビナガ シヘエ	Tobinanga Siffe	"
"	"	アゴヤ キエモン	Angoija Quiemon	堺
"	"	ハコヤ ヨソベエ	Fackoije Jossobe	江 戸
"	"	カワチヤ サクベエ	Cauwatsia Sackobe	"
"	"	イトウ キエモン	Ito Kiemon	京 都

7-9 1636年10月7日 売渡分(現金勘定) 引渡白糸総額 14050 斤, 銀 375 貫 135 匁 (f. 106913 : 9 : 8 :)					
斤 数	金 額 (テール)	氏 名	出身地	備 考	
700斤	T. 1869	シワヤ シロベエ	Siwaja Sirobe	大 坂	
600 "	" 1602	ヒゼンヤ ハチザエモン	Figenja Fatseseijmon	江 戸	
400 "	" 1068	イシモト クロエモン	Iesmouto Croijemon	長 崎	
"	"	シナ人 ゴンベエ	Gompe Chinees	"	
"	"	ハツトリ コヘエ	Fattorij Coffe	江 戸	
"	"	マシヤ セーベエ	Massia Sebe	博 多	
"	"	タワラ セーベエ	Tauwara Sebe	長 崎	
300 "	" 801	ユギヤナ[ママ] シチロエモン	Jungijana Strojemon	堺	
"	"	タナカ セーザエモン	Tanacka Seseijmon	江 戸	
"	"	タカムラ ヒダヤ	Takamura Findaija	京 都	
"	"	ニシベ ヘイハチ	Nissibe Faijfaitjs	"	
"	"	ヨドヤ リエモン	Jondoija Liemon	大 坂	
"	"	シワヤ ソーザブロウ	Siwoja Sosabro	京 都	
"	"	サンヤ キエモン	Sannja Kiemon	堺	若くはゼニヤ キエモン
"	"	サンヤ ソーエモン	Sannja Soijemon	京 都	若くはゼニヤソーエモン
"	"	アマノヤ トウザエモン	Ammannoja Toseijmon in Fingo	肥 後	細川家御用商人, 天野屋
"	"	アクタヤ キチザエモン	Acxtaja Kitseijmon	堺	藤左衛門
"	"	サカイ ショージン	Sackoij Siosin	"	若くはサコヤ ソージン
"	"	キキョー[ヤ] ドウアン	Kickio Douan	"	原本 Donan (ドンアン). 若くはドーナ
"	"	ナキア ニエモン[ママ]	Nakia Niemon	京 都	
"	"	シナ人 七官	Sticquan Chinees in Nangasacq	長 崎	
"	"	ネイヤ キツエモン	Neija Kitseijmon	"	ニイヤ キチエモンか?
"	"	ヒラノヤ リゾー	Firania Lieso	大 坂	
"	"	ヤソザエモン	Jassoseijmon, gerecommandeerde van de Secretaris van Auwa- donne	?	阿波殿の書記官よりの紹 介者とあり
"	"	マキヤ デシエモン	Mackia Dememon	京 都	
"	"	ヒラノ サクベエ	Firano Sackobe	江 戸	
"	"	イトウ サンザブロウ	Ito Sansabro	京 都	
"	"	タヤ ヤソエモン	Taija Jassoiijemon	長 崎	
"	"	タチバナ シンロク	Taijtsibanna Sinrock	"	
"	"	チウス キューシロウ[ママ]	t'Sius Kiousiro	堺	
"	"	コマ セーザエモン	Comma Seseijmon	江 戸	
"	"	シロヤ イチザエモン	Siroja Itsiseijmon	"	
"	"	サカヤ ヒコベエ	Sackaja Ficobe	"	
250 "	" 667.5	サンザブロウ ノゴ[?]	Sansabro Nongo	長 崎	
"	"	ゴンベエ カラモノヤ	Gombe Carrammonia	江 戸	
"	"	オビヤ クザエモン	Oubia Kouseijmon	"	
200 "	" 534	コホリヤ ショオザエモン	Koforia Siouseijmon	大 坂	

200 "	T. 534	オヤマ シロベエ	Ojamma Sirobe	長 崎	原本恐く誤記
"	"	スエツグ ジンタロウ	Sietsongo Zintaro	"	
"	"	マツア[マツヤ ?] センロク	Matsua Senrock	大 坂	
"	"	コメヤ ゴンベエ	Commeja Gombe	"	
"	"	カラモノヤ クザエモン	Karramonnia Kouseijmon	江 戸	
"	"	イトヤ イチビョーエ	Itoja Jtsieboije	京 都	
"	"	ナガハマヤ マタビョーエ	Nangafammaja Mattabioije	江 戸	
"	"	エンドウ チュービョーエ	Jendo t'Siubioije	"	
"	"	シオヤ ヒコイチ	Siwoja Ficoijts	大 坂	
"	"	カラモノ[ヤ] ロクザエモン	Karramonne Rockseijmon	長 崎	

7-10 1636年10月8日 売渡分(現金勘定) 引渡白糸総額 6750 斤, 銀 180 貫 225 匁 (f. 51364 : 2 : 8 :)					
斤 数	金 (テール)	氏 名	出身地	備 考	
1000斤	T. 2670	シモダ シビョーエ	Simonda Sibioije	京 都	
500 "	" 1335	サムキヤ[ママ] サンザエモン	Samouckia Sanseijmon	" 原本恐く誤記, サヌキヤか	
"	"	カンザエモン	Kanseijmon	"	
300 "	" 801	キュースケ, 京都の乙名	Kiuske Ottena in Miaco	"	
"	"	チョーノ[?] 乙名のムスコ	t'Siono Ottonano Mosco	" t'Siono は恐く「町の」か mosco は息子か	
250 "	" 667.5	ソータク, 閤老備中殿の紹介	{ Sotack, gerecomandeerde van Raets Heer Bitchioudonne	? 備中殿は太田備中守宗資	
200 "	" 534	ナカジマ キューンチ	Nackasima Kiust	長 崎	
"	"	コニシ キューベエ	Konis Kiubie	京 都	
"	"	カラモノ[ヤ] ソーイ	Karramon Soije	江 戸	
"	"	クナイニワ [?] 某	Kounaijniwa s'Korrij [sic]	長 崎	
"	"	チヤヤナ[ママ] スイメイ	t'Siajana Suime	堺	
"	"	クキシヤ[ママ] トーベエ	Kukissija Tobe	京 都	
"	"	シワヤ マタザエモン	Siwaja Mattaseijmon	大 坂	
150 "	" 400.5	カンドージャ ヤヘエ	Camdodia Jaffe	長 崎	
"	"	サクザエモン	Sacseijmon	"	
"	"	長崎金座 [カ]	Kinsa in Nangasacq	"	
"	"	タニグチ サンエモン	Tannuguts Samnemon	江 戸	
"	"	イオーヤ リヒョーエ	Jwoja Riffioije	"	
"	"	エビヤ ヤヒョーエ	Jebia Jaffioije	"	
"	"	サジエモン	Sasiemon in Firussima	広 島	
100 "	" 267	タナヤ ショーテツ	Tannaija Sioteets	堺	
"	"	カナヤ タロベエ	Cannaja Tarobe	京 都	
"	"	カンザエモン	Canseijmon in Ombra	大 村	
"	"	キューベエ	Ciube in Ombra	"	
"	"	ハフリヤ ハンベエ	Faouria Fambe	京 都	
"	"	エンドウ カンベエ	Jendo Cambe	江 戸	
"	"	コモノ イチザエモン	Commono Jtsiseijmon	備後, 軀	
"	"	ミヅタ シチダイウ	Mista Stideija	唐 津	
"	"	タカムラ イチロウエ[ママ]	Takamura Jtsiroije	京 都	
"	"	フクシマ ゴンシチ	Foukosima Gonst	大 坂	
"	"	キツケヤ トウビョーエ	Kitskeja Tobioije	"	
"	"	アビンタヤ[ママ] ショウゴロウ	Abistaja Chiougoro	江 戸	
"	"	ハマヤ ヤヘエ	Fammaija Jaffe	長 崎	
"	"	ドーボコヤ リヒョーエ	Dobokoja Riffioije	大 坂	
50 "	" 133.5	ゴロエモン	Groiemon	" 若くは クロエモン	

7-11 1636年10月10日 平戸住人売渡分(現金勘定) 引渡白糸総額 13800 斤, 銀 368 貫 460 匁 (f. 105011 : 2 : 一 :)				
斤 数	金 (テール) 額	氏 名	備 考	
1000斤	T. 2670	シンエモン	Sinnemon	
〃	〃	リエモン	Liemon	
800 〃	〃 2136	リザエモン	Riseijmon	
〃	〃	内匠殿, 前家老	Taackemondo, gewesen Regent	
〃	〃	藏人殿, 平戸侯叔父	Crosendo, Oom van d'Heer	
〃	〃	大学殿, 家老	Deijckacdonne, Regent	

800 "	T. 2136	大膳殿, 同上	Deijsiendo, mede Regent	
3500 "	" 9345	町年寄センダイヤ, 番匠ヤ[エ]モン, ヘイエモン, ショーザブロウ, イシダ[?] サブロザエモン, コバヤシジュヘエ(若くはヤヘエ), キエモン, Sendeija, Burgemeester, Ja[e]mon, Mr Timmerman, Fejemon, Chiosabro, Inssinda Sabroseijmon, Cobaijs Juffe & Kiemon.		
400 "	" 1068	ゴトウ ヤヘエ	Gotto Jaffij	
" "	" "	ミタラヤ ヨソベエ	Mittaria Josobe	
500 "	" 1335	ヒコエモン	Fickojemon	
3000 "	" 8010	サンエモン, スケエモン, リヘエ, タニガワヒコザエモン, マゴザエモン, イトウ スケエモン, ヘーンツ[?], チョウザエモン, コガワリエモン, ヒョーザエモン, Sanniemon, Schemon, Riffij, Tannigouwa Ficoseijmon, Mangoseijmon, Ito Schemon, Geents[sic], t'Sioijseijmon, Congouwa Liemon & Fioseijmon.		

7-12 1636年10月15日 平戸住人へ売渡分(現金勘定) 引渡白糸総額 10200 斤, 銀 272 貫 340 匁 (f.77616:18:一:)				
斤 数	金 額 (テール)	氏 名	備 考	
5000斤	T.13350	平戸六ヶ町の町人へ	大学殿の叔父	
1000 "	" 2670	河内浦町人へ		
500 "	" 1335	ユシノヤ シエウモン[ママ]		
1000 "	" 2670	{ハチスケ[?], セエモン[?], シロベエ, モエモン, マケベエ[ママ], サキガタローゾー, Faijtsike, Chemon, Sirobe, Moijemon, Manckebeen & Sackingatta Toso.	ハチスケ, セエモン, マケベエの訓 み猶後考に俟つ	
350 "	" 934.5	ハリマヤ キチエモン	Iechoutfarij 訓み不明	
1000 "	" 2670	{ハチスケ[?], チャベエ, シンベエ, 某, センサコン[?], Faijtsike, t'Siabe, Simbe, Iechout farij [sic] & Sensacon		
300 "	" 801	イロ[]シロー		
1050 "	" 2803.5	{イチエモン, ヒコサブローウ, ハカタ[ヤ]クロエモン, シロエモン, シチ ザエモン, タザエモン, キンシロウ, モリ, サンシロウ[?], シエウモン, シンシチ, Jtsiemon, Ficosabro, Faccata Croijemon, Siroijem- on, Citiseijmon, Taseijmon, Kinsiro, Morij Saijnchiro, Chieumon & Sinst		

7-13 1636年10月18日 平戸住人へ売渡分(現金勘定) 引渡白糸総額 6370 斤, 銀 170 貫 079 匁 (f. 48472:10:5:)				
斤 数	金 額 (テール)	氏 名	備 考	
800斤	T. 2136	{タニガワ リスケ, ヨシムラ ソーシロウ, サブロベエ, 某ジュエモン [?], Tanijgouwa Riske, Jussimoura Sosiro, Sabrobe & Sinnes Jeumon.		
300 "	" 801	イタヤセンザエモン Itaja Senseijmon		
2000 "	" 5340	某ゴロザエモン, ナベヤ ゴンエモン, アミヤノ シンベエ, タマガワ リエモン, チロイチ[?], シロエモン, コンド モザエモン, ハイブリ ヤ[?]チウベエ, ホンダ センエモン, マツナガ キチザエモン, スミ ヤシンエモン, 某, サンジャ シロエモン, ヨロズヤ[?]キチザエモン, キューザエモン, コメヤ ヒコエモン, Ta[]raets Groseijmon, Nabeja Gommemon, Amia Nosimbe, Tamungouwa[?] Lie- mon, Tiroijts, Siroijemon, Conde Moseijmon, Foijbcouwa t'Siube, Fonda Senniemon, Matsunanga Kitsiseijmon, Su- mia Siniemmon, t'Sutsu [], Sanja Siroijmon, Joronsia Kitsiseijmon, Kiouseijmon, Commia Ficoijemon: Gereco- mandeerde ende burgers in Firando.	以上, 紹介者ある者, 平戸市民	
2300 "	" 6141	マタイシロウ, シンパチ, ヤサブロウ, 綱屋ペンテンスケベエ, キツ ケ, モリ スケダイウ, タロエモン, ミタラヤ スケエモン, ヤタイウ, イチエモン, ヒモノヤ シンゴ, 石工アワヤ キチベエ, 鍛冶シンパ チ, 某, 水主マタエモン, ヤザエモン, ヒコサブロウ, クロザエモン, 長崎のフェルステアーヘンの宿主ドーイ, ヤソエモン, 大学殿の長崎の宿 主ヤイチロウ, Mataijsiro, Simpats, Jasabro, Bentem s'kebe, lijnslager, Kitske, Morij Schendoija, Tarroijemon, Mitaria Schemon, Jataija, Jtsiemon, Fimonaja Singo, Awaija Kitsibe, Mr. metselaer, Simpats de cleijne smith, Maijulaj [sic], Mateijmon, Schipper, Jaseijmon, Ficcosabro, Croseijmon, Nangasacq Doij, waert van W. Verstegen, Jassoijemon,	ミタラヤスケエモン: 御手洗屋助右 衛門 クロザエモン迄, 平戸市民, 紹介者 ある者 フェルステアーヘンはオランダ商館の 長崎駐在員 ヤソエモンは「牛商人」と註記あり	

120 "	T. 320.4	ossen leveraer, Jaijtsiro, waert van de Regent Daijckedo. in Nangasabq.	
300 "	" 801	平戸侯侍医 Doctor van Sijn Excellentie. Canseijmon, meester Smith 鍛冶 カンザエモン	或はサンザエモン ツウス：通詞
550	T. 1468.5	サイエモン, タキゾウ, カイエモン, コメヤ キチエモン, ツウス キ チベエ, 唐通事キチザエモン, サクエモン, 船頭トウベエ, エグチ セ ンザエモン, 盲人スイサツ, 書記ヤヘエ. Saijemon, Tackisodonne, Kaijemon, Commia Kitsiemon, t'Souskitsibe, Kitsiseijmon Chinesen tolcq, Sacquemon, Tobe Schipper, Jenguts Senseijmon, Suisats blindeman, & Jaffe schrijver.	

註：この間の人名，原典に誤記，欠損多く，訓み不明なるもの，疑点あるものままあり，後考に俟つものなり。

7-14 1636年10月20日 平戸住人へ売渡分（現金勘定） 引渡白糸総額 4569 斤，銀 121 貫 992 匁 3 分 (f. 34767:16:2:)			
斤 数	金 (テール)	氏 名	備 考
4000斤	T. 10680	松浦肥前守	Figiensamma
200 "	" 534	タタンゼイモン, 平戸侯御用 材木払方	{ Tatta Sieseijmon, Leveraer van { d'Heer van Firandos houtwerqc
200 "	" 534	大工ロンセンドノ〔ママ〕	{ Lonsendo, meester huijstimmer- { man
169 "	" 451.23	ヤソザエモン コンガワ	Jassoseijmon Congauwa 姓名倒置か